



神戸大学へ ようこそ！



令和6年度
神戸大学
初年次セミナー
共通教材

2024~2025

初年次セミナー共通教材

目次

第1章 大学はどんなところか

1-1. 大学の基本的な使命とは	1
1-2. 大学生になるとはどのようなことか	3
1-3. 大学にはどんな人がいるのだろうか	4
1-4. 神戸大学はどんな大学だろう	6

第2章 大学のカリキュラムについて知ろう

2-1. 自分が作成した時間割に責任を持つ	11
2-2. 神戸大学のカリキュラムの仕組み	12
2-3. 各分野の必須文献、スキル、想定されるキャリア	18
2-4. 自分の学修を振り返る	20

第3章 大学のリソースを最大限に活用しよう

3-1. 神戸大学は国民によって支えられている	24
3-2. 学内の情報システムを活用しよう	25
3-3. 図書館やラーニングコモンズを活用しよう	28
3-4. 神戸大学の国際学修プログラムを活用しよう!	30
3-5. 学内の学生支援窓口を活用しよう	36

第4章 大学生活で求められるルールやマナーを知ろう

4-1. アカデミック・ルールやマナーには意味がある	40
4-2. 身近なところに存在するリスクを意識しよう	44
4-3. 多様な他者の学び・異なる価値観を尊重しよう	46

第1章：大学はどんなところか

要旨

大学は新しい知を生み出し、その成果を蓄積して、社会や後世に伝えていく場です。神戸大学には社会が直面する課題の解決に挑戦する実学重視の伝統が息づいています。まずは、神戸の街そして神戸大学の広大なキャンパス全体を散策してみてください。そして、新生活のマインドに早く切り替えてください。授業で学ぶ内容は高校時代よりも格段に高度になりますので、学んだ内容を振り返る習慣をつけてください。自分から「問い」を立てる習慣を身につけましょう。

キーワード

大学の使命、アカデミック・フリーダム、リベラル・アーツ、問いを立てる、学修を振り返る、通説を疑う、大学教員（ファカルティ）、大学職員、大学院生、留学生チューター、神戸大学の特色

1-1. 大学の基本的な使命とは

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。神戸大学に入学してみて、どんな印象を持ちましたか。大学生活には慣れましたか。あなたはどんな志をもって神戸大学に入学しましたか。この初年次セミナーでは、大学とはどんなところか、大学のカリキュラムとはどうなっているか具体的に説明し、あなたが大学での学修目標を主体的に立てられるようになることを目指します。また、神戸大学のリソースや、大学生活で求められるルールやマナーについても説明します。

大学という組織の基本的な使命は、新しい知を生み出し、その成果を蓄積して、後世に伝えていくことにあります。つまり、大学はその本質上、国境を超えたグローバルな学術組織なのです。知を生み出す過程では既存の学問知を批判的に検証して、新しい発見、概念、解釈、方法などの正しさを世に問うこととなります。これが研究活動です。さまざまな分野で行われた研究の成果は図書、学術雑誌（論文）、データベース（[神戸大学学術成果リポジトリ KernelJ](#)）などの形で図書館（神戸大学附属図書館）に蓄積され、学生や教職員はいつでもこれを利用することができます。

大学で生み出された知は、さまざまな方法で学生や社会に伝えられます。最も一般的な方法は授業です。大学の授業には大人数講義、少人数の演習、実験、実習などさまざまな形態があります。講義では既存の知識を体系的に学ぶことができます。少人数の演習（セミナー）は発表や議論をするのに適しています。特定のスキルを修得するには実

験、実習に取り組む必要があります。これらの授業では知識の修得のみならず知識や技術を用いて論理を組み立て、これを実証する活動を行います。この活動には、論理に飛躍がないか、検証方法が社会的・倫理的な観点から適切かどうか、つねに判断することが必要です。したがって、**大学での教育・研究活動を行う上では学生の全人的かつ多面的な発達が求められます。**こういった意味において、大学が求める「知」とは knowledge（知識）に限らず、むしろ wisdom（叡智）のニュアンスに近いといえます。

大学の性格を端的に表す言葉に「アカデミック・フリーダム」という表現があります。これは具体的には教える自由、学ぶ自由、研究する自由を指します。日本をはじめ多くの国では、大学が特定の政治的・思想的な圧力を受けるようなことはありません（すべての国でこのことが当てはまるわけではありませんが）。大学の授業には国が定める学習指導要領は存在せず、教育内容・方法を各大学や担当教員の裁量で決めることができます。もちろん、これは大学ではどんな非常識なことでも許されるということではなく、研究・教育の水準を維持・向上させるための高い自律能力や説明責任が不断に求められるという意味です。

現代の大学の起源と言われている中世ヨーロッパの大学は、法律家、聖職者、医師など、人間の生命・財産を司る専門家を養成する機関でした。そこでは特色ある講義内容に惹かれて全ヨーロッパから学生が自然発生的に集まり、ヨーロッパの共通言語であるラテン語が教授言語として用いられました。学生たちは組合組織（ユニヴェルシタス）をつくって大学を運営する一方、世俗権力である領主や自治都市に対しては大学としての自治権を認めてもらおう交渉をしました。この組合組織が大学の語源と言われています。

中世ヨーロッパの学生たちは専門分野に進む前に「リベラル・アーツ」（論理学、修辞学、文法、算術、幾何学、楽理、天文学）と総称される多彩な学問分野を学びました。「リベラル・アーツ」には人間をさまざまな制約から解放するという意図が込められています。これが現代の大学における教養教育の原点です。現代の大学の風土、すなわち無国籍的で自治と進取の気性に富む性格はこのように形成されたのです。

中世のヨーロッパで自然発生的に誕生した大学は、近代に入って国家権力が強化されるに伴い、国際競争で生き残るためのエリート養成機関としての性格を強めました。一方で、自由闊達な大学の文化は、多くの国が民主的な社会を築く上で大きな影響を与えてきました。今や大学は、入学試験に合格した若者を対象とする選抜的な最高学府としての存在を持ちつつ、同時に学ぶ意欲をもつ人を継続的に支援する生涯学修機関としての性格も兼ね備えるようになりつつあります。

同時に、大学で行われる研究の内容・方法は、科学技術の進歩に伴ってますます細分化、断片化する傾向にあります。各学問分野において高い水準の研究活動を行いつつ、同時にこれをいかに統合し、整合化、体系化するかという課題が現代の大学に問われています。

1-2. 大学生になるとはどういうことか

神戸大学では新入生のみなさんに次のようなことを期待しています。

第一は、**大学受験のときのマインドから新生活のマインドに早く切り替えてほしい**ということです。親元から離れて一人暮らしを始めた人の多くは、初めての一人暮らしに心細い思いをしていませんか。どうか、人生最初の孤独を楽しんでください。故郷から遠く離れた地で自分と向き合うことは、誰しもが青年期に経験する成長への第一歩です。神戸大学にはいろいろな魅力がありますよ。後で紹介しましょう。

第二は、**大学で学んだ内容をつねに振り返る習慣をつけてほしい**ということです。振り返ることは理解度や定着度を高める上で効果的です。大学で履修する内容は幅広く、高校までとは比較にならないくらい難易度が高くなります。したがって、課題を提出する前に入念に推敲したり、できなかった問題の解答を直後に確認したり、履修した授業の学修内容をクォーター末に振り返るという地道な作業が重要となります。外国語科目や共通専門基礎科目では、特に多くの基礎知識の修得が必須となるため、熟達には反復練習が欠かせません。神戸大学では学生による授業振り返りアンケートを実施していますが、これには教員の授業内容・方法の適切性を評価するだけでなく、受講者自身の学修の振り返りを促進するという意図も込められています。

第三は、**自分から「問い」を立てる習慣を身につけてほしい**ということです。「問い」とは、これまで当たり前だと思ってきたことに対して、「本当にそうだろうか」「なぜだろう」「どうやって」と疑問に思うことです。おそらく高校時代までは「与えられた知識を吸収する」ことが学びの基本スタイルだったでしょう。問題に対する回答は必ず存在し、問題集の末尾に掲載されていました。これに対して、大学での学びには、自らの問題意識を掘り下げて「問い」を具体化し、これを探求することが求められます。解は一つとは限らないし、必ずしも存在するとは限りません。現実社会においてもサイエンスの世界においても、絶対解が存在しないことの方がはるかに多いからです。たとえば原子力発電の是非にしても、憲法改正の是非にしても、さまざまな立場や解釈があることはみなさんも知っているとおりで。もちろん、自分なりの問いを立てて探求するのに必要な基礎知識や方法論を学ぶための講義科目も大学にはたくさん用意されています。

「問い」を立てるコツは、「通説を疑う」ことです。日常生活や社会のなかで当たり前のこととみなされている考え方は、未来永劫正しいとは言えないからです。たとえば、太陽ではなく地球の方が動いていること（自転しながら公転していること）、人類は生物の進化プロセスのなかで誕生したこと、運動中の水分補給は欠かせないこと、これらはいずれもかつて異なる通説によって厳しく否定された考え方ですが、現在では常識となっています。学問や科学技術の発展はこうした絶え間ない「通説転覆」の歴史なのです。ということは、現在は常識と思われている考え方も、将来は変わる可能性があるということです。みなさんの子どもや孫が学校で学ぶ教科書は今とは相当違ったものになることでしょう。

1-3. 大学にはどんな人がいるのだろう

大学にはさまざまな人が学び、働いています。

大学で働いている人のうち、新入生のみなさんに最もイメージしやすいのは教員（ファカルティ）でしょう。大学教員は第一線の研究者でもあり、それぞれの専門分野があります。専門分野において研究計画を立て、研究費を獲得し、最新の研究成果を学会発表や学術論文の形にして世に問うことが求められます。同時に教員は講義を担当し、演習や実習を指導する文字通りの「教員」でもあります。さらに、研究室を運営し、研究スタッフを雇用する経営者としての一面もあります。また、政府や自治体のアドバイザーや、マスメディアを通じての専門的知見の発信など、公益に資する仕事を行う面もあります。つまり、大学教員の特徴は、高い専門性を活かしながら、学内外で多面的な仕事を展開する点にあります。大学の壁を越えて、全国学会や国際学会において他の研究者から評価を受けるという点で、**大学教員は高い自律性の文化をもつ専門家集団なのです**。大学教員にはキャリアに応じて教授、准教授、講師、助教、助手という職階がありますが、多くは研究者としてのトレーニングを大学院で受けるという点で共通しています。したがって、大学教員はティーチャーというよりも、「学びの先達」「学びのプロ」といえるかもしれません。

さらに、大学では教員以外に数多くの大学職員が働いています。学生にとって身近なのは、履修登録を扱う教務・学務部門、奨学金や授業料免除の申請などを扱う学生支援部門、就職情報を提供するキャリア支援部門、日本人学生の海外送り出しや留学生の受け入れなどを担当する国際部門、および図書館の職員あたりではないでしょうか。このほかにも、大学の中長期計画の立案を行う企画・総務部門、財務管理を司る財務部門、施設管理を行う施設部門などがあります。附属病院では、多くの医療技術職員、看護職員、病院事務職員が働いていますし、附属学校では教諭が働いています。それから、大学の教職員以外に、大学生活協同組合（いわゆる大学生協）の職員がいます。彼らはキ

キャンパス内の購買ショップや食堂、書店、印刷部門などで働き、大学の教育・研究を側面から支援してくれます。

教員や職員以外にも大学で働く人々がいます。たとえば、学長や理事、副学長、学長補佐などの経営陣がいます。彼らはさまざまな部署に分かれて働く教職員を全学的な立場から統括しています。つまり、**教職員には特定の専門業務に従事するスペシャリストの他、大学全体の管理・運営を行うゼネラリストがいます。**

大学で学ぶ学生も多様です。高校までとは異なり、大学には全国から学生が集まってきます。ぜひ多くの友人をつくって、全国各地の方言にチャレンジしてみてください。また、今日の大学では高校を出てすぐに入学する二十歳前後の若い学生だけでなく、仕事や育児をしながら通学する人、あるいは退職後に大学で再び学ぼうとする人など、さまざまな年齢層や目的をもった社会人学生が増えています。若い学生は社会人学生の人生経験から多くのことを学ぶことができます。また、大学では世界中からやってきた外国人留学生在が学んでいます。学位取得を目的とする長期留学の場合もあれば、比較的短期の研修目的の場合もあります。家族同伴で来日する留学生も珍しくありません。キャンパス内で日常的に留学生と交流を深めることは、多文化社会におけるコミュニケーション能力を磨く機会にもなります。

神戸大学には約 11,500 人の大学生（学部生）に加えて、約 4,500 人の大学院生が在籍しています（令和 5 年 5 月 1 日現在）。大学院は博士課程前期課程（マスターコース）と博士課程後期課程（ドクターコース）からなります。このほか、専門職学位課程として法曹養成のための法科大学院や経営の中核人材の養成を目的としている MBA コースがあります。多くの大学院生の特徴は、修士号取得のために修士論文にチャレンジ、あるいは博士号取得のために博士論文にチャレンジしていることです。大学教員や研究者のようなアカデミックな仕事や高度専門職に就くためには、学士課程で基礎を学んだ後、大学院で独自のテーマを設定して研究活動を行い、その成果を修士論文や博士論文などの学位論文として仕上げる必要があります。これは大変な難事業です。授業が終わった後でも、大学の校舎に夜遅くまで電気がついているのは、多くの大学院生が研究室で活動しているからです。

また、神戸大学では在学生在が後輩学生の学修を支援することを奨励し、その業務内容に対して経済援助を行っています。学部生の場合はスチューデント・アシスタント(SA)、大学院生はティーチング・アシスタント(TA)もしくはその上級版であるシニア・ティーチング・アシスタント(STA)あるいは外国人留学生のチューターとして神戸大学に雇用され、彼らは授業の補助業務や各種の学修支援業務を行っています。こうした学生スタ

ップが存在することには、単なる学生への経済支援という以上の教育的な意味が込められています。第一は、大学生は先輩学生からも多くの知的刺激を得る機会があり、大学はそのことを積極的に奨励しているということです。第二は、後輩学生の学びを支援する機会は、支援する側の学生にとっても成長のきっかけになりうるということです。人は教える経験を通して多くを学ぶからです。

1-4. 神戸大学はどんな大学だろう

みなさんが入学した神戸大学にはさまざまな魅力があります。

神戸大学は 10 の学部と 15 の大学院を擁する総合大学であるため、学生は多様な学問分野を横断的に学ぶことができます。神戸大学の特色をみてみましょう。

第一の特色は、社会が直面する問題の解決に挑戦する実学重視の伝統（「学理と実際の調和」）が息づいていることです。他大学にあまり見られない学部として、経営学部と海洋政策科学部の存在を挙げることができます。経営学部は経済学部や法学部とともに、1902 年（明治 35 年）に創設された神戸高等商業学校（いわゆる神戸高商）をルーツとし、我が国の経営学のパイオニア的存在として全国に知られています。経営学部と経済学部の 2 学部が並び立っているのが神戸大学の特徴です。海洋政策科学部は 2021 年に海事科学部に替えてできた学部ですが、前身である神戸商船大学および海事科学部から数えると百年近い伝統があります。

また、多くの国立総合大学では理系に比べて文系の規模が小さいのに対して、神戸大学では文系分野も充実しているため、文理融合型の教育・研究活動を展開しやすいという特徴があります。神戸高商が守り続けてきた「真摯・自由・協同」の精神は、学問に打ち込み、己の心身を鍛え、自由を尊び、互いを助け合う文化として、今でも神戸大学の学生に脈々と受け継がれています。2017 年（平成 29 年）に設置した国際人間科学部は、深い人間理解と他者への共感をもって地球的規模の課題に向き合い、世界の人々が多様な境界線を越えて共存できる「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を育成します。

第二の特色は、キャンパスが海から山に至るまで、複雑な起伏に富んでいることです。坂が多いため、通学に少々難がある点は玉にキズですが、神戸大学に入学したからにはこの際、足腰をしっかりと鍛えてください。全学共通授業科目を受ける鶴甲第 1 キャンパスと自分の学部があるキャンパスを往復するだけでなく、ぜひ空き時間には別のキャンパスを散策してみてください。おもしろい場所がたくさんあります。

海洋政策科学部のある深江キャンパスは海に面しており、全国の大学でもきわめて珍しくキャンパス内に船舶が停泊できる港湾施設をもっています。大学が所有する練習船やヨットは演習などに活用されています。全学共通授業科目では海洋政策科学部以外の学生にも乗船できる機会がありますので、関心のある人はぜひ参加するとよいでしょう。



練習船海神丸

法学部、経済学部、経営学部がある六甲台第1キャンパスは、神戸大学の母体となった神戸商業大学（1929年設置）が置かれた場所です。城塞のような高い石垣、石畳の階段や歩道、六甲台本館をはじめとする昭和初期の歴史的建造物が戦災や震災を乗り越えて、今でも大事に使われています。国の登録有形文化財に登録されている建物も多く、たびたび映画やテレビドラマのロケが行われています（2016年NHK連続テレビ小説「べっぴんさん」、2016年東宝映画「海賊とよばれた男」など）。



六甲台本館 階段

文学部、理学部、農学部、工学部がある六甲台第2キャンパスの名物は、百年記念館と「うりぼーロード」です。百年記念館からの眺望は見事です。ここから神戸市街や神戸港を一望できます。「うりぼーロード」は工学部と理学部の段差を縫うようにして、鶴甲第1キャンパスとをつなぐ歩行者専用通路として南北に整備された空中回廊です。六甲山系を臨みながら学内の馬場を眺めることができます。馬場の北に位置する学生会館はクラブ活動の拠点となっており、夕方になるとたくさんの学生が楽器の練習をする姿がみられます。最上階ホールのテラスからは視界270度のパノラマを楽しむことができます。



百年記念館からの景色

国際人間科学部は鶴甲第1キャンパスと鶴甲第2キャンパスに分かれています。

鶴甲第1キャンパスには、2015年4月に緑鮮やかな人工芝グラウンドが誕生しました。A棟の1階部分には巨大なウッドデッキがあり、待ち合わせをするのに最適です。国際人間科学部のもう一つのキャンパスである鶴甲第2キャンパスは標高200メートル以上の高台にあります。六甲ケーブル乗り場のすぐ手前にあるこのキャンパスからは、六甲台地区の他のキャンパスを一望することができます。



A棟1階 ウッドデッキ

医学部医学科のある楠キャンパスは、平安時代末期に都が置かれた福原京の中心地に位置し、新開地や湊川神社など、神戸の歴史が感じられる地域にあります。

医学部保健学科のある名谷キャンパスは、ニュータウンとして開発された地域にあります。山と海に挟まれた神戸の細長いイメージとは異なり、一面の丘陵地帯が視界に広がっています。

加西市にある**農学研究科附属食資源教育研究センター**には40ヘクタールの敷地に水田、畑、果樹園、牛舎などがあり、教育・研究活動を行うと同時に、さまざまな生産物を出荷しています。その様子は神戸大学ホームページ（[動画](#)・[写真](#)）で見ることができます。



農学研究科附属食資源教育研究センター

本学の第三の特色は、何と云っても神戸という個性あふれる街に位置していることです。神戸は明治維新とほぼ同時期に産声を上げた港湾都市であり、上海-香港-シンガポールからヨーロッパへとつながる欧州航路の玄関口として発展しました。コーヒー、洋菓子、洋服など、数多くの世界の文物が神戸を通して日本国内に普及しました。旧外国人居留地、南京町、関帝廟、神戸ムスリムモスクなど、神戸は多文化交流の見本市のような街です。神戸大学にも千人以上の外国人留学生が在籍し、各学部ではさまざまな国

際交流プログラムを展開しています。自分の学部の国際プログラムにはどんなものがあるかを確認してみてください。

また、神戸は造船、製鉄、医療、ファッション、観光、食品などさまざまな産業の集積地でもあり、多くの企業が立地しています。六甲山系と瀬戸内海に挟まれた風光明媚な地形は、たびたび映画や小説の舞台にもなってきました。神戸には明治以来、百数十年間にわたって磨き抜かれてきた都市文化が息づいています。休日はぜひ神戸の街を探索してみてください。

第四の特色は、**阪神淡路大震災から得た教訓を蓄積し、学内外に発信し続けていることです**。神戸大学では、この震災で多くの学生と教職員が犠牲になりました。震災直後の1995年10月、この震災に関する資料、文献、報道記事などを集めた「**震災文庫**」を社会科学系図書館に設置しました。翌96年には都市の安全確保のための学際研究を行う場として「**都市安全研究センター**」を設置しました。さらに、2014年度からは災害発生時に携帯電話、スマートフォンなどのメール機能を利用して学生、教職員の安否を確認する「**安否確認システム**」(ANPIC)を稼働させています。2011年3月11日に発生した東日本大震災では、神戸大学の学生ボランティア支援室が「**東北ボランティアバスプロジェクト**」を立ち上げて、東北各地でさまざまなボランティア活動を継続的に実施しています。阪神淡路大震災から25年以上の歳月が経ちましたが、神戸大学ではこの悲しい経験から得られた教訓を風化させることがないように全学的な取り組みを続けています。

DISCUSSION

- 大学と高校の違いについて周りの学生と話し合ってみましょう。
- 神戸大学を選んだ理由、今の学部を選んだ理由について、周りの学生と話し合ってみましょう。
- 4(6)年間の学生生活でしたいこと(部活動・留学・ボランティア・インターシップ・アルバイトなど)を周りの学生と共有してみましょう。
- 1年生と1回生、意味に違いはあるのでしょうか。
- 勉強と研究は本質的に何が違うのでしょうか。
- 神戸の街あるいは神戸大学を舞台にした映画や小説をいくつ知っていますか。
- これまで神戸の街に対して抱いていたイメージと実際の印象は異なるのでしょうか。周りの学生と話し合ってみてください。

第1章 参考サイト・参考図書

(著者姓のあいうえお順、URL はいずれも 2023 年 11 月 10 日最終検索)

参考サイト

- 一般財団法人 神戸観光局「神戸公式観光サイト Feel KOBE」
<https://www.feel-kobe.jp/>
神戸の街は見どころ満載。休日は友だちと散策してみましょう。
- 神戸大学「沿革・歴史」
<https://www.kobe-u.ac.jp/info/outline/history/index.html>
各学部のルーツを詳しく紹介しています。
- 神戸大学「使命、憲章、ビジョン」
<https://www.kobe-u.ac.jp/info/outline/mission-vision/index.html>
神戸大学の建学の精神、これから目指すべき方向性をあらわしています。
- 神戸大学「データと資料が語る神戸大学の今の姿」
<https://www.kobe-u.ac.jp/info/outline/datashiryoushuu/index.html>
神戸大学のさまざまなデータを他大学と比較しています。
- 神戸大学「Map and Introduction」
<https://www.kobe-u.ac.jp/documents/guid/access/mapandintroduction.pdf>
英語と日本語が併記されたキャンパス&市内マップです。留学生用に作成されたものですが、日本人学生にとってもわかりやすい内容になっています。

参考図書

- 神戸大学物語刊行委員会編『ビジュアル版 神戸大学物語』【第二版】株式会社神戸学術事業会、2015年、1047円
神戸大学の歴史とトリビアをエピソードとしてまとめています。
- 能登印刷株式会社編『日本の未来は大学の進化にかかっている！第1弾 神戸大学 "文理融合"イノベーションで世界と競う』梧桐書院、2015年、1980円
福田元神戸大学長と山中伸弥京大教授(本学医学部卒業生)との対談が印象的です。
- 屋代尚宣(大分県中津市監修)『マンガ 明治・大正期の教育者 水島鍬也』梓書院、2015年、713円
官立神戸高等商業学校の初代校長を務めた水島鍬也先生の伝記マンガです。歴史好きの人にお勧めです。

第2章：大学のカリキュラムについて知ろう

要旨

大学では時間割を自分で作成します。大学のカリキュラムは多様な分野を横断的に学びながら、しだいに自分の専門を絞り込んでいくという構造になっています。神戸大学は2学期クォーター制をとり、学内外での多様な学修を学生に奨励しています。まずは、自分の学部・学科の存在意義について調べてみましょう。そして、各分野の入門書を手に入れ、熟読してください。自分の専門分野を学ぶ上で必要な基礎スキルを確認してください。将来のキャリアを想定し、どのような準備が必要かを考えてみましょう。

キーワード

大学の時間割、全学共通授業科目、学部専門科目、「2学期クォーター制」、「神戸スタンダード」、ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、科目ナンバリング、成績評価方針、基礎スキル、将来のキャリア、「授業振り返りアンケート」、「学修の記録」、「学修ポートフォリオ」

2-1. 自分が作成した時間割に責任を持つ

大学の授業は高校の授業とどのように異なるのでしょうか。

第一の違いは、高校までの時間割が学校によって決められるものであったのに対し、大学の時間割は学生自身がつくるものだという事です。神戸大学では学生は希望する授業を選択し、履修します（もちろん、必ず履修し、単位を修得しなければならない授業も多くあります）。大学の時間割は学部・学科ごとにある程度の共通性を保ちながらも、結果的には学生一人一人異なるものになります。自分の作成した時間割について責任を持つことが大学生活を送る上での大前提なのです。

第二の違いは、大学のカリキュラムは全学共通の科目と各学部・学科の専門科目が二本立て構造になっており、両者を並行かつ往復しながら学ぶ仕組みになっていることです。大学では幅広い教養と高度な専門性の両方を身につけることが求められているためです。神戸大学の全学共通授業科目には基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学、共通専門基礎科目などがあります。これらの科目は、専攻する学部・学科を問わず、自分の専門分野を学ぶ上で前提となる基礎知識、他分野に関する基礎知識、柔軟かつ論理的な思考、多文化への理解、言語の運用能力、健康な心身を養うために必要なものです。

他方、各学部・学科が提供する専門科目では、専門分野の体系を学び、高度な専門知識と学問の方法論を学びます。専門科目は導入的な授業から始まり、だんだんと専門性や難易度が高くなり、高年次においてはゼミや研究室に属しながら卒業論文・卒業研究に取り組むというのが一般的です。加えて総合大学であることを活かして、他学部の専門科目を履修することで、自分の専門分野以外の学問を学ぶことが可能です。学部によりますが、他学部で履修した科目も卒業単位数に含まれます。また、神戸大学では4(6)年間を通じた教養教育を行うため、基本的に3年次以上で履修する高度教養科目を設けています。

つまり、大学のカリキュラムは多様な分野を横断的に学びながら、しだいに自分の専門を絞り込んでいくという構造になっています。このため、低年次では全学共通授業科目のウエイトが大きく、高年次になるにつれて専門科目のウエイトが大きくなっています。神戸大学の全学共通授業科目は、鶴甲第1キャンパスの教室で行われます。これに対して、学部の専門科目は一部の科目を除き、各学部・学科のあるキャンパスで行われます。このため学生も教員も、時限ごとにキャンパス間を移動することが日常的になっています。神戸大学ではキャンパス間の移動に時間がかかり、それ自体が良い運動になります。そこで、授業と授業の間の休憩時間を20分間設けています。

第三の違いは、大学の授業では高校までとは大きく異なり、主体的・能動的に学ぶことが強く求められるという点です。神戸大学の授業は基本的に1コマ90分（実験などを除く）で行います。難易度の高い内容を一定のまとまりをもって学ぶためには、この位の時間が必要なのです。しかし、高校までの50分前後の授業に慣れてきた新生にはだいぶ長く感じられるかもしれません。しかも、大学教員は高校までの教員のように丁寧に板書をしながら、重要な箇所を繰り返して教えてくれるとは限りません。また、大学生は大人として扱われるので、仮に授業をサボったとしても、あるいは授業中に居眠りをしたとしても、おそらく大半の授業担当教員はあなたをその都度注意したりしないでしょう。それはあなた自身が責任をもつべき問題だからです。その一方で、授業内容は格段に難しくなるので、漫然と授業を受け身で聞いているだけで十分に理解することは至難でしょう。また、規則上も1単位の修得には授業時間以外の学修を含め、45時間の学修が必要であると定められています。

2-2. 神戸大学のカリキュラムの仕組み

① 2学期クォーター制

神戸大学のカリキュラムは2学期クォーター制です。1年間は第1から第4までの4つの授業期間で構成されます。基本的に1つの授業は8週で完結し、試験に合格すれば1単位が与えられます。原則、第1・第2クォーターの履修登録は4月に、第3・第

4クォーターの履修登録は10月に行います。成績は9月、3月の中旬に発表することとしています。

※学部・学科によって、2学期セメスター制の授業を実施している場合があります。みなさんが所属している学部・学科の授業制度を確認するようにしてください。

2学期クォーター制のねらいは、授業に加えて、学内外での多様な学修活動を促進することです。2学期クォーター制によって、科目特性に応じて集中的な履修が可能となり、総合的な学修効果を高めることが期待できます。また、留学などのさまざまな学外体験の機会を増やすことも奨励しています。具体的には、第2あるいは第3クォーター（約2ヶ月間）を夏季休業期間と組み合わせることによって、最大4ヶ月間を海外でのサマースクール（短期留学）やボランティア活動、インターンシップ（就業体験）など、学外でのさまざまな活動に充てるできるようになりました。

②どんな授業があるのか

では、みなさんがこれから履修する授業について紹介しましょう。まずは、全学部生が入学当初から履修する授業科目を説明します。各学部・学科の授業については、2-3で紹介します。

みなさんが今履修している「初年次セミナー」¹では、教員や他の学生との対話を通して、自律的な学びの姿勢を育むことをめざしています。授業を通じて、神戸大学について理解を深めながら、同じ学部・学科で学ぶ仲間を見つけ、大学時代にどんな能力を身につけたいかを自分なりに考えてみましょう。

「外国語科目」は、英語を学ぶ「外国語第Ⅰ」、英語以外の外国語（未修外国語）を学ぶ「外国語第Ⅱ」（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語）があります。神戸大学では、外国語教育の基本的な内容は必修となっている一方で、より発展的な内容を学ぶための上級コースが選択制で設けられています。

また、平成29年度から英語外部試験のスコアによる英語ベーシック・コース科目の単位授与と選抜上級クラス制度を導入しています。詳細は『外国語教育ハンドブック』や英語の授業にて確認してください。

さらに、より多くの言語や文化に触れることができるように選択制の「外国語第Ⅲ」も用意されています。

● 神戸大学全学共通教育『外国語教育ハンドブック』

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/solac/undergraduate.html>

¹ 「初年次セミナー」は各学部・学科の専門科目として開講されています。

「情報科目」は、神戸大学において勉学を進めるうえで最低限理解しておくべき情報リテラシーについて学修します。具体的には、学内コンピュータの利用方法、ネットワーク上のコミュニケーションのマナー、ネットワーク社会で自らを守るためのセキュリティなどに関して基礎的な知識を修得します。

「健康・スポーツ科学」では、身体と健康・運動に関する学問を学際的な視野のもとで学びます。実習の授業では実際に運動・スポーツを行い、身体を動かすことの楽しさを体感しながら、健康増進の意識を高めます。また、学生相互のふれあいを通して、コミュニケーション力、リーダーシップなどの社会性の向上を目指します。「健康・スポーツ科学」は、鶴甲第1キャンパスの体育館、グラウンド等で授業を実施します。

所属学部によっては、数学、物理学、化学など、複数の学部・学科で必須となる基礎知識を「共通専門基礎科目」で学びます。各学部・学科で提供される専門科目を学ぶ上での基礎学力を確実に身につけましょう。

1年次第2クォーターになると、「基礎教養科目」と「総合教養科目」の履修が始まります。「基礎教養科目」では入学した学部・学科以外の学問分野の基本的なものの考え方を学ぶことを通じて複眼的なものを見方を身につけます。また、「総合教養科目」では多様な文化、思想、価値観を受容するとともに、地球的課題を理解する能力を身につけます。

次に、みなさんは所属学部で各分野の専門科目を履修しつつ、基本的には3・4年次から、「高度教養科目」を履修します。この授業では、前述の「基礎教養科目」「総合教養科目」や専門科目などで修得した知識と技術を活かしながら、他学部生と一緒に授業を受講し、協働してさまざまな課題を学ぶことで、チームワーク力と目標を追求し続ける力を身につけます。

③教養教育で身につけるべき能力（「神戸スタンダード」）

神戸大学のカリキュラムでは、4（6）年間を通して学ぶ教養教育において学生が身につけるべき共通の能力を「神戸スタンダード」として定めています。具体的には「複眼的に思考する能力」、「多様性と地球的課題を理解する能力」、「協働して実践する能力」の3点です。

「複眼的に思考する能力」とは、専門分野以外の学問分野について基本的なものの考え方を学ぶことを通じて、さまざまな角度からものの見方ができることです。

「多様性と地球的課題を理解する能力」とは、世界の多様な文化、思想、価値観を受容するとともに、地球規模の課題の本質を理解することです。

「協働して実践する能力」とは、専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力と、困難を乗り越え目標を追求し続ける能力のことです。

神戸大学では、学生の所属学部によらず、すべての学生が教養教育においてこれらの能力を卒業時まで身に付けることを目標としています。

それでは、下記の「神戸スタンダード」達成度チェックリストを用いて、現時点（入学時）の自分の状況を確認してみましょう。上記の3つの能力を6種類の要素に分解し、これらをレベル0からレベル3までの4段階で測定できるようになっていますので、自己点検してください。

● 神戸大学 うりぼーポータル 神戸スタンダード

http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/blue12/index_kobestandard.html

「神戸スタンダード」達成度チェックリスト

3つの能力	能力の要素	レベル0 スタート	レベル1 気づき・関心	レベル2 理解・深化・実践	レベル3 振り返り・知見
複眼的に思考する能力 専門分野以外の学問分野について 基本的なものの考え方を学ぶことを通じて、複眼的なものの見方ができること	専門分野以外の学問分野について、基本的なものの考え方を身につけている。	専門分野以外の学問分野について、その基本的なものの考え方を、ほとんど知らない。	同左 いくらか知っている。	同左 理解を深めつつある。	同左 自分なりの言葉で表現できる。
	複眼的なものの見方ができる。	複眼的に思考する習慣は、ほとんどついていない。	同左 重要だと実感している。	同左 少しずつ身につけている。	同左 実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる。
多様性と地球的課題を理解する能力 世界の多様な文化、思想、価値観を受容するとともに、地球規模の課題の本質を理解すること	世界の多様な文化、思想、価値観を受容している。	世界の多様な文化、思想、価値観について、ほとんど知らない。	同左 いくらかの関心を抱いている。	同左 その関心を日常生活や日々の学修に活かしている。	同左 実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる。
	地球規模の課題について理解している。	地球規模の課題について、あまり考えたことがない。	同左 いくらかの関心を抱いている。	同左 その関心を日常生活や日々の学修に活かしている。	同左 実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる。
協働して実践する能力 専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力と、困難を乗り越え目標を追求し続ける能力のこと	専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力を身につけている。	専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決に取り組んだ経験は、ほとんどない。	同左 協働して課題解決に取り組むことを重要だと実感している。	同左 協働して課題解決に取り組むことを日常生活や日々の学修で実践している。	同左 実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる。
	困難を乗り越え目標を追求し続ける能力を身につけている。	困難な目標にチャレンジしてきた経験は、ほとんどない。	同左 チャレンジするための計画を立てたことがある。	同左 計画を実践したことがある。	同左 実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる。

拡大した図が53ページにあります。

レベル0は各能力の重要性にほとんど気づいていない段階です。レベル1は各能力の重要性に気づき、関心を抱き始めている段階です。レベル2はさらに関心を深め、何らかの実践を始めている段階です。レベル3は実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる段階です。神戸大学では、学士課程の全学生が卒業までレベル3を達成することを期待しています。達成度を上げる機会を、教養科目を履修する以外にもたくさ

んあります。各学部の専門科目、ゼミや研究室での活動、他の学生や教職員との交流、課外活動、留学プログラムなどは、これらの能力を高める良い機会になるでしょう。

この神戸スタンダードの理念を実現するために、神戸大学では教養科目や外国語科目を低年次だけでなく、学士課程全体にわたって履修できるような仕組みになっています。また、文系・理系の垣根を低くして、文系学生が理系の教養科目を、理系学生が文系の教養科目を履修しやすいようにカリキュラム上の工夫をしています。複雑な現代社会においては、文系知あるいは理系知だけでは解決できない問題が増えているからです。

* 各学年で履修する授業科目は次の図で示すとおりです。

全学共通授業科目

1年	2年	3年	4年	5年 (医学部医学科)	6年
基礎教養科目					
総合教養科目					
外国語科目					
情報科目					
健康・スポーツ科学					
共通専門基礎科目					

高度教養科目

		高度教養科目		
--	--	--------	--	--

専門科目

初年次セミナー				
専門科目				(医学部医学科)

④ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

神戸大学では全学及び学部ごとに「ディプロマ・ポリシー」と「カリキュラム・ポリシー」を策定しています。ディプロマ・ポリシーとは、卒業認定と学位授与を行う上で基本方針を示したものです。ディプロマ・ポリシーでは「人間性」「創造性」「国際性」「専門性」という4つの共通目標を掲げ、それぞれを次のように定義しています。

「人間性」において身につける能力は、さまざまな場面において状況を適切に把握して主体的に判断する力、および専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力を指します。

「創造性」において身につける能力は、他の学問分野の基本的なものの考え方を学び、自らの専門分野との違いを理解する力、および能動的に学び新たな発想を生み出す力のことを指します。

「国際性」において身につける能力は、複数の言語で異なる文化の人々と意思を通じ合うことができる力、および文化、思想、価値観の多様性を受容し、地球的課題を理解する能力を指します。

「専門性」において身につける能力とは、幅広い知識とそれを基盤とした専門的能力のことです。この専門性は学生が所属するそれぞれの学部・学科で高めます。

各学部・学科ではこの共通目標をさらに具体化した目標を定めています。つまり、教養教育で身につけるべき神戸スタンダードに加えて、各学部・学科の専門教育において修得すべき能力を総合したものが上記のディプロマ・ポリシーと言えます（神戸スタンダード＋専門教育＝ディプロマ・ポリシー）。

これに対してカリキュラム・ポリシーとは、ディプロマ・ポリシーを達成するための具体的な道筋（教育課程の編成と実施方針）を示したものです。もともとカリキュラムとはゴールに向かう「走路」という意味です。

ここで一つ課題に挑戦してみてください。あなたの学部・学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーがどのように表現されているかをホームページ等から確認してみましょう。そこにどのようなメッセージが込められているかを読み取ってください。

⑤段階的かつ体系的な履修（科目ナンバリング）

ディプロマ・ポリシーを達成するためには、カリキュラム・ポリシーに沿って体系化されたカリキュラムを順序立てて履修することが大事です。神戸大学では、各授業科目に7けたの数字・記号からなる特定のコードをつけて、当該科目がどのような専門分野の、どのくらいの水準の科目なのかを一目でわかるようにしています。この仕組みを「科目ナンバリング」と言います（時間割コードとは異なります）。科目ナンバリングは科目間の関係を示しており、どの授業科目からどの順序で履修すれば、体系的に学修できるかがわかるようになっています。

科目ナンバリングには一定の規則性があります。例えば、L1HM100というのは、「文学部が初級レベル科目として開講している初年次セミナー」を意味します。最初の2桁は開講学部と対象課程（学士課程、博士課程前期課程、博士課程後期課程、専門職学位課程）を指します。たとえば、L1というのは文学部の学士課程のことです。3桁目と4桁目は学科・コース等を指します。例えばHMは人文学科のことです。

神戸大学のナンバリングコードにおいて重要な意味を持つのは5桁目です。1は初級レベル、2は中級レベル、3は上級レベル、4は最上級レベルを意味します。6桁目と7桁目は科目ごとに異なる識別番号です。5桁目に注目すると、1年次は1となっている科目が大半を占め、学年が上がるにつれて数字が大きくなるようにカリキュラムが設計されています。自分が履修する科目のナンバリングコードの5桁目をよく確認してください。

多くの科目では、学生便覧やシラバスの中にナンバリングコードが記載されています。履修上の参考情報として活用してください。

● 神戸大学 うりぼーポータル 科目ナンバリング

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/numbering/index.html>

◎神戸大学の成績評価方針

神戸大学における各授業科目の成績評定は、秀（90点以上）、優（80点以上90点未満）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）の5段階で行われます。可までは単位が与えられ、不可は単位が与えられません。

「秀」は特に優れた成果を収めたとの評価であるため、各授業科目で履修者全体の概ね10%程度を上限とするように大学全体の目安を設けています。また、「秀」と「優」の合計比率を、各学部で概ね40%程度を上限とすることを目安としています。ただし、科目の性質上、こうした上限を適用しない場合もあります。さらに、担当教員間で成績評定に関する情報を共有し、教員によって評定の差が極端に大きくなるように、大学として工夫・調整をしています。

これらの成績評価方針は、学生向けポータルサイト「うりぼーポータル」で公開しています。

● 神戸大学における成績評価方針

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/study/grade.pdf>

2-3. 各分野の必須文献、スキル、想定されるキャリア

みなさんはどうやって現在の学部・学科を選択しましたか。大学の学部・学科ホームページや紹介パンフレット、保護者の方や高校の先生からのアドバイス、大学のオープンキャンパス、自分が将来就きたい職業のイメージなど、さまざまな機会を通じて検討したことと思います。

それぞれの学問分野には存在意義ともいえるべきテーマがあります。自分が入学した学部・学科のテーマについて調べてみましょう。たとえば、法学は王権や独裁者の思いつきによって国民が振り回されることがないように、権力に一定の法的制約を設けるという

考え方が根底にあります。経済学は資源の最適配分によって社会をどう安定させ、幸福をもたらすかという使命があります。理学の本質は物質や生命がどのように成り立っているかを解明することにあります。工学には科学の成果を技術にどう転用するかという命題があります。これから自分が専攻する学問分野にどのような主題があるのか、調べてみてください。あるいは教員や先輩学生に聞いてみるのも良いでしょう。

① 必須文献や参考書を見つけよう

各学問分野には初心者にとって必須とも言うべき入門書があります。授業の教科書として用いられる書籍は、たいていは[附属図書館](#)に所蔵されています。教科書は自分で購入するのが望ましいですが、もしお金が足りなくなっても、附属図書館に行けば借りることができます（ただし、図書館の本は共有財産なので、書き込みをしたり、丸ごとコピーをしたりしてはいけません）。シラバスに掲載される図書の良いところは、授業担当教員によって精選されているという点で、一定の質が担保されていることです。教科書以外にも、お勧めの入門書はたくさんあります。この初年次セミナーの担当教員あるいはSA（スチューデント・アシスタント）やTA（ティーチング・アシスタント）から紹介されることでしょう。忘れないうちにメモをとって、附属図書館に行って実物を確かめてください。なお、附属図書館の利用方法は次の第3章で詳しく説明します。

共通専門基礎科目や外国語科目の教科書は、修得すべき基礎知識が膨大で、時には無味乾燥に感じることもあるかもしれません。そういうときは、各専門分野を開拓した研究者たちの足跡を記した伝記や概説書などを読むと、彼らがどんな動機でその分野を志したのか、研究の過程でどんな課題に直面したのかを知ることでしょう。理路整然としたように見える学問体系でも、実際には研究者一人一人の泥臭い知的格闘によって形成されてきたことを実感することができます。外国語科目の場合は、その外国語を母語とする地域が生み出した著名な文学作品や名画・名曲などに接してみるのも、自分自身への動機づけに効果的でしょう。

② 基礎スキルを身につけよう

あなたの専門分野を学ぶ上ではどんな基礎スキルが必要でしょうか。料理をマスターするには、素材に関する知識に加えて、炒める、煮るといった基本動作が欠かせません。でもその前に、まずは包丁やコンロを使いこなすことが前提ですね。学問も同様です。基礎スキルなしには学修活動や研究活動は成立しません。

どの学問分野においても欠かせないのは、日本語（留学生は母語）で論理を構成する能力です。たとえ外国語が得意であっても、日本語の論理構造が支離滅裂では元も子もありません。大学では各分野の専門知識を修得すると同時に、「いかに論理を構成し、

相手を説得するか」という思考能力を鍛えることを重視しています。この考え方は、国際的にはロジカル・シンキングやクリティカル・シンキングと言われ、大学で身につけるべき最も重要な能力の一つとみなされています。附属図書館に行けば、論理的な文章を書くためのガイドブックをたくさん見つけることができますので、一度手に取ってみてください。

国際共通語としての英語の運用能力も重要です。たとえば、英語の専門用語を理解すること、英語で発表し議論すること、英語論文を読み解くこと、英語で論文を書くことなどが考えられます。いつの段階でどのような英語スキルが必要となるのかを、自分の学部の教員や先輩学生に聞いてみてください。また、理系学部では数学や物理学の知識は欠かせません。文系分野においても、たとえば経済学では数学の知識が必須ですし、多くの分野では統計のスキルが必要とされます。他にも実験装置を操作する技術的なスキルや、現地調査など多文化のなかで目的を遂行する精神的タフさが要求される分野もあります。

③ 将来のキャリアを想定しよう

あなたが入学した学部・学科では、卒業後にどのようなキャリアが想定されるでしょうか。まずは先輩学生がどのような進路を選択しているかを調べてみましょう。あなたにとっての目標となる人が見つかるかもしれません。医学部のように、学部選択が特定の職業と密接に結びつくところもあれば、人文・社会科学系のように就職先が多種多様な分野もあります。大学院進学者数の割合が高い学部もあれば、就職するのが一般的な学部もあります。[キャリアセンター](#)や各学部・学科ではこうした情報を開示しています。次に、いつの時点で就職活動のための準備を始めればよいのか、そのためにはどのような基礎知識・スキルが必要なのか、自身のキャリアプランを考えるうえでも、キャリアセンターや各学部・学科で開催される就職ガイダンスなどを通じて情報収集してみてください。

● 神戸大学 キャリアセンターHP

<http://www.career.kobe-u.ac.jp/>

2-4. 自分の学修を振り返る

① 学習から学修へ

本章の最初に説明したように、大学におけるカリキュラムの特徴は、学生が時間割を自分自身で組み立てる点にあります。つまり、大学教育の本質とは他者から一律に与えられるものではなく、自分から能動的に獲得する姿勢が前提になっています。この教材をここまで読んできて気づいたかもしれませんが、本教材では「大学における学び」のことを「学修」という漢字で表現しています。高校時代までは「学習」という表記が一

般的でしたので、「学修」という表記にはなじみがないかもしれません。この言葉には、大学における学びは他者から「習う」「做う」ものではなく、自らが主体的に「修める」ものであるとの意味が込められています。この考え方は初年次セミナーだけでなく、神戸大学全体で共有しています。

②授業振り返りアンケート

神戸大学では学生が履修した授業内容を振り返る機会として、「授業振り返りアンケート」を授業ごとに実施しています。これは学生が各授業についてどのくらいの学修時間を確保できたのか、内容をどの程度理解できたのか、授業目標をどの程度達成できたのか等について振り返るための仕組みです。もちろん、授業担当教員に対して授業を改善するための意見や提案をすることもできます。「授業振り返りアンケート」は「うりぼーネット」を通して回答することができますので、大学外からもアクセス可能です。スマートフォンからの回答も可能です。回答者には授業ごとの集計結果が公開されています。

● 授業振り返りアンケート

<https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/edu/students-evaluation/index.html>

③「学修の記録」

「授業振り返りアンケート」に加えて、神戸大学では学修活動全体を振り返る「学修の記録」を学期末に行っています（全学生必須）。これは個々の授業に関するアンケートではありません。「学修の記録」では、大学生活においてどのような学修活動を行ったかについて、クォーター単位で総合的かつ定期的に振り返り、今後の学修を充実させることがねらいです。大学での学修活動は授業だけに限りません。この「学修の記録」では授業に関連しない学修活動も含まれます。ゼミ・研究室での活動、留学や資格取得や就職のための学修、クラブ活動における学修など、大学生活における多種多様な学修活動のすべてを対象とします。「授業振り返りアンケート」と同様、この「学修の記録」も「うりぼーネット」上で回答します。個々の結果はシステム上に記録され、学生は過去の自分の記録を見ることができます。自分の大学生活をいかに充実させるかという観点から活用してください。

● 「学修の記録」

http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymysys/student/green/gakusyunokiroku/index_gakusyunokiroku.html

④「学修ポートフォリオ」

学修ポートフォリオとは、成績、テストの答案・レポート・課題など、大学時代のあらゆる学修記録を蓄積したものを言います。自分の学修履歴をいつでも容易に確認でき

る状態にしておくことは、学修の効率化や合理化に役立ちます。レポート課題などをパソコンで作成する場合は、作成したファイルをフォルダに計画的、効率的に整理しておきましょう。神戸大学ではみなさんの学修記録を保管するためのひな形フォルダを用意しています。

まずは、「うりぼーポータル」の中にある「学修ポートフォリオ」を開き、ひな形フォルダをダウンロードしてください。クォーターごとに電子フォルダが用意されています。ここにあなたが作成した課題等のファイルを整理・保存しておきましょう。授業外の課外活動の記録（インターンシップ、サークル活動など）も保管することができます。フォルダ類は自分でいろいろカスタマイズすることができます。

みなさんの多くが経験することになる就職活動では、大学生活を通してどのような活動を行ったのか、何に打ち込んできたのかについての説明をよく求められます。大学生活で得たことを他者にアピールするには、作成したファイルや成果物を普段から整理する習慣を付けておく必要があります。

● 学修ポートフォリオ

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/portfolio/index.html>

WORK

- 4年間（6年間）の学修プランを考えてみましょう。
- 卒業後のキャリアについて想像してみましょう。

DISCUSSION

- 作成した時間割表を他の学生と見せ合って意見交換をしましょう。学部・学科が指定する履修要件は満たしていますか。見落としはありませんか。一定期間内の履修取消は可能ですが、履修上限単位数（CAP（キャップ）制）²に留意し、履修計画を立てるようにしましょう。
- 「外国語第Ⅱ」はどの言語を選択しましたか。そう決めた理由は何ですか。
- あなたの学部・学科の主題が何かわかりましたか。
- あなたが学びたい学問分野にはどんな入門書がありますか。
- あなたが学びたい学問分野に必要とされる基礎スキルは何でしょうか。
- あなたが学びたい学問分野では、どのような英語スキルが必要とされますか。
- 専門分野の知識以外に、教養として身につけておきたいことはありますか。

² 所属学部により、履修上限単位数は異なります。

第2章 参考サイト・参考図書

(著者姓のあいうえお順、URL はいずれも 2023 年 11 月 10 日最終検索)

参考サイト

- 神戸大学 うりぼーポータル 教養教育と神戸スタンダード
http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/blue12/index_kobestanderd.html
- 神戸大学「学部の学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」
https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/edu/policy/diploma_policy/index.html
どこまで到達すれば学士の学位が授与される水準たりうるか、知識・能力の到達目標を学部別に示しています。
- 神戸大学「学部のカリキュラム・ポリシー」
https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/edu/policy/curriculum_policy/index.html
いつの時点でどんな科目をどのように学ぶことが必要かを明示しています。
- 神戸大学キャリアセンター「進路・就職データ」
http://www.career.kobe-u.ac.jp/various_data/employment_advancement.html
卒業生・修了生の進路に関するデータを示しています。
- 神戸大学大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター学士課程教育(全学外国語教育)神戸大学全学共通教育『外国語教育ハンドブック』
<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/solac/undergraduate.html>
神戸大学の外国語教育カリキュラムが詳しく、かつわかりやすく解説されています。

参考図書

- 苅谷剛彦『知的複眼思考法 誰でも持っている創造力のスイッチ』講談社+α文庫、2002年、968円
受け身の学習から自分の頭で考える能動的な学習に変わるには複眼的な思考が欠かせないと提唱。読みやすく、事例が多く挙げられています。
- 戸田山和久『最新版 論文の教室 -レポートから卒論まで-』NHKブックス、2022年、1540円
論理的な文書を書くとはどういうことかを、当代随一の論理学者の手によってユーモアたっぷりに説明した名著。文例がたくさん掲載されています。
- 山本直人『大学生のためのキャリア講義 就活本を読む前に』インデックス・コミュニケーションズ、2007年、1650円
働くとはどういうことかという「そもそも論」をわかりやすく語ってくれる本です。就活を始める前の低年次生向け。

第3章：大学のリソースを最大限に活用しよう

要旨

国立大学法人である神戸大学の教育・学修環境は、国民の税金や周りの人々からの支えによって成り立っています。神戸大学の資源や情報を大いに活用してください。神戸大学には「うりぼーネット」、「BEEF+（ビーフプラス）」、附属図書館、ラーニングコモンズ、各種の学生相談など、みなさんの学修を支援するためのさまざまな仕組みがあります。また、神戸大学は学外での多様な学修を学生に奨励しています。海外語学研修、神戸グローバルチャレンジプログラム（神戸 GCP）、交換留学、大学院でのダブルディグリーなど、ニーズに応じて多様な学修機会を用意しています。

キーワード

神戸大学の予算、神戸大学の施設・設備、「うりぼーポータル」、「うりぼーネット」、「BEEF+」（神戸大学学習支援システム）、PC 必携化、附属図書館、ラーニングコモンズ、留学プログラム、学生相談窓口

3-1. 神戸大学は国民によって支えられている

大学にはさまざまな資源があります。それらを活用することで、あなたの学修の質を飛躍的に高めることができます。大学の資源は人材、予算、施設・設備、情報の四要素から成り立っています。神戸大学の人材は約 16,000 人の在学生（大学院生を含む）と約 4,000 人の教職員（非常勤を含まず）です（令和 5 年 5 月 1 日現在）。あなた自身も神戸大学の貴重な財産なのです。

同時に、世界中で活躍している数万人に達する卒業生も神戸大学のかげがえのない財産です。自らの利潤追求を前提とする企業とは異なり、**大学には社会の共有財産としての特性があります**。神戸大学は国立大学法人ですので、その資源は学生や教職員だけのものでなく、国民全体の財産です。さらに、多くの外国人留学生や外国人教職員が在籍する神戸大学は、国際社会にとっての共有財産でもあるのです。大学における教育・研究活動は、究極的には社会の持続的発展、地球環境の保全、世界平和のためにあります。

とはいえ、良質な教育・研究環境を維持するには多額のお金が必要です。神戸大学の年間予算は約 853 億円です（令和 4 年度）。収入のうち学生が納める授業料が約 97 億円、附属病院の診療報酬が約 380 億円、国の予算から支出される運営費交付金が約 204 億円、残りの約 172 億円は受託研究や科学研究費補助金、寄附金収入などです。支出は人件費が約 385 億円、病院の診療経費が約 267 億円、教育・研究に要する経費が約 161

億円となっています。このことからわかるように、神戸大学は授業料収入だけではなく、国からの運営費交付金や附属病院の診療報酬により運営されています。**あなたの教育・学修環境は、国民の税金や卒業生からの寄附等、周りの人々からの支えによって成り立っている**ということを心に留めておいてください。

神戸大学の施設・設備は、あなたがふだん利用する教室、実験室、図書館、食堂や課外活動施設以外にも多種多様なものがあります。たとえば、深江キャンパスには練習船や大型ヨット、楠キャンパスには**附属病院**、ポートアイランドには国際がん医療・研究センター、**神戸大学統合研究拠点**、兵庫県中部の加西市には農学研究科附属農場（**食資源教育研究センター**）、淡路島には**内海域環境教育研究センター**、神戸の西隣にある明石市には大学附属の**幼稚園**、**小学校**、**特別支援学校**、神戸市東灘区には**中等教育学校**があります。

高校生の時のあなたにとって一番身近だった大学の情報は「神戸大学受験生ナビ」などの入試情報でしょうか。それ以外にも、神戸大学のホームページでは、教育研究の学術成果やデジタル文庫、大学の運営情報など、多岐にわたる情報を社会に向けて発信しています。また、日常的に教員や先輩方から得られる情報も大学の資源といえます。教科書に載っていない最新の研究内容の話はあなたの見聞を広げることでしょう。神戸大学の最新データについては下記のサイトをご覧ください。

● データと資料が語る神戸大学の今の姿・教育情報の公表

<https://www.kobe-u.ac.jp/info/outline/datashiryoushuu/index.html>

このように、神戸大学はあなたがこれまで学んできた高校までとは比較にならないくらい規模が大きく、必要なサービスの利用方法を把握するのは容易ではありません。そこで、学生が学内外から必要な情報を随時かつ迅速に入手でき、大学生活をスムーズに送れるように、神戸大学ではホームページ以外にもさまざまなシステムを整備しています。代表的なものを紹介しましょう。

3-2. 学内の情報システムを活用しよう

神戸大学では「うりぼーポータル」という名称の学生向けポータルサイトを運用しています。これは本学で学生生活を送る上で必要な情報を集めた電子掲示板で、ログインは必要ありません。ポータルとは「入口」という意味です。神戸大学のホームページには多岐にわたる膨大な情報が掲載されていますので、わかりやすいように学生生活に必要な情報を精選して「うりぼーポータル」に集めました。あなたのパソコンやスマートフォンのブックマーク機能を使って、必要な時にすぐに見られるように設定しておいてください。

- 神戸大学 うりぼーポータル（大学 HP トップページ「在学生の方」よりリンク）
<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymysys/student/student.html>

このポータルには、授業や履修登録に関する内容、課外活動を含む学生生活全般、健康・安全・安心に関する情報、資格取得、進路・就職、国際交流や留学に関する情報が掲載されています。困ったときには、画面上部にある「よくある質問と回答」「お問い合わせ先一覧」がとても便利です。ちなみに、「うりぼー」というのはイノシシの子どもの通称です。夜間になると六甲台地区の周辺に出没することがあるので、神戸大学のマスコットの存在になっています（もし見かけたら、身の安全のため刺激しないようにしてください）。

「うりぼーポータル」とは別に、神戸大学には「うりぼーネット」という教務情報システムがあります。「うりぼーネット」に入るには、「うりぼーポータル」画面右側上部にある緑色のバナー（長方形のボタン）をクリックし、情報基盤センターが発行したログイン ID とパスワードを入力してログインする必要があります。「うりぼーネット」では授業の履修登録や成績照会、休講補講情報の照会、シラバス参照、授業振り返りアンケートや学修の記録の回答などを行うことができます。インターネット環境が整っているパソコンおよびスマートフォンのブラウザ機能を使えば、学外からもアクセスすることができます。



- 神戸大学 うりぼーネット

<https://kym22-web.ofc.kobe-u.ac.jp/campusweb>

「うりぼーネット」では、履修登録をしたり、登録されているあなた自身のさまざまな個人情報を確認したりすることができます。利用後にログアウトしないと、他人にあなたの個人情報を見られたり、改ざんされたりするおそれがありますので注意してください。また、履修登録の締切日が間近になるとアクセスが急増するため、大学のサーバーに大きな負荷がかかり、うまく接続できないことがあります。できるだけ時間に余裕を持って登録手続きをしてください。こうした双方向型の情報システムはとても便利ですが、どんなシステムにも一定のリスクがあります。安全に利用するためには利用する側にも注意が必要です。



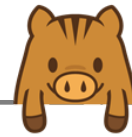
神戸大学では BEEF+という学習支援システムを導入し、授業での活用を促進しています。第1クォーターで必修となっている「情報基礎」の授業では BEEF+の利用方法について説明があります。この BEEF+を使うと、授業時間外にもネット環境を介して授業担当教員や他の受講者とコミュニケーションを図ることができます。BEEF+では、授業

に関する参考情報を教員から随時紹介したり、学生がネット上で課題を提出したりすることができます。

● 神戸大学学習支援システム BEEF+

<https://beefplus.center.kobe-u.ac.jp/>

その他に、Zoom・Microsoft365・Google Workspaceなどの授業支援ソフトウェアをオンライン授業や授業コンテンツ利用のために使用することもあります。オンライン授業を受講する際には、情報基盤センターのHPで使い方を確認しましょう。授業でこれらのシステムを用いる場合の情報は、BEEF+などを通して授業担当教員から事前に通知されますので、前もって情報を確認しましょう。



◆ オンライン授業についての一般的注意

授業担当教員・部局によって、自身の画面表示、オンライン授業へのアクセス方法、レポート提出方法など、オンラインの運用・エチケットが異なることがあります。授業担当教員の指定するオンライン利用方法を守り、お互い気持ちよく学修活動ができるように、オンラインでの発言には、節度を持ちましょう。

そのほか、以下の点にも注意しましょう。

- ・ 登下校の時間がオンライン授業と重なったりしないかなど、対面授業とオンライン授業を時間割上で無理なく受講できるかを事前に確認しよう。
- ・ 自宅外でオンライン授業を受ける場合は、音声など、周りの人に迷惑をかけないようにしよう。
- ・ 目を酷使しないように。ときどき休憩をとろう。
- ・ ストレッチしたり、外の空気を吸うなど、気分転換をしよう。
- ・ 課題をこなすために昼夜逆転しないように。朝はきちんと起きよう。

※心身に不調を感じた時には、保健管理センターへご相談ください。(P37 参照)

また、神戸大学では2019年度以降に入学した学生を対象に、ノートパソコンの必携化(PC必携化)を実施しています。これにはいくつかの目的があります。第一は、1年次第1クォーターに履修する「情報基礎」で、「うりぼーネット」での履修登録方法やBEEF+の基本操作を修得することです。第二は、担当教員が履修者にパソコン持参を指示して、授業中にBEEF+などを介してコメントの作成や課題の提出を行うことがあることです。第三は、授業時間外にも全学用無線LANを通じて自分のパソコンからさまざまな学修リソースにアクセスし、活用できることです。学生は自宅でパソコンを充電して、登校時に携帯しましょう。

3-3. 図書館やラーニングcommonsを活用しよう

附属図書館の蔵書に触れることは「先人との対話」とであると表現できるでしょう。多くの蔵書では、特に古典の場合、それらの著者はすでにこの世の人ではありません。もちろん、周りの教員や学生から学ぶべきことは多いですが、故人が遺した知的遺産からも私たちが学ぶべきことがたくさんあります。古今東西の知的遺産を集積し、これを後世に継承するという使命、そして、新たな「知」を創造する使命を担っている大学にとって、附属図書館は大学の心臓部分なのです。

神戸大学附属図書館の特徴は、各学部・研究科の研究領域をサポートする専門図書館がキャンパスごとに置かれているところです。学内には9つの図書館（総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館、経済経営研究所図書館、医学分館、保健科学図書室、海事科学分館）があり、約3,800,000冊の図書・学術雑誌等を所蔵しています。また約45,000冊の電子書籍や約37,000タイトル以上の電子ジャーナル（学術雑誌の電子版）を利用することができます。神戸大学の学生はすべての館を利用できます。このうち、鶴甲第1キャンパスにある総合・国際文化学図書館では、全学共通授業科目を受ける学部1・2年次の学生を対象に学習図書や語学教材を所蔵しています。

各図書館の所在キャンパスとサポート対象学部は次の表の通りです。

附属図書館所在キャンパスとサポート対象学部

図書館名	所在キャンパス	サポート対象学部
総合・国際文化学図書館	鶴甲第1	国際人間科学部(グローバル文化学科), 国際文化学部/研究科
社会科学系図書館	六甲台第1	経済学部/研究科, 経営学部/研究科, 法学部/研究科, 国際協力研究科
自然科学系図書館	六甲台第2	理学部/研究科, 工学部/研究科, 農学部/研究科, システム情報学研究所, 科学技術イノベーション研究科
人文科学図書館	六甲台第2	文学部, 人文学研究科
人間科学図書館	鶴甲第2	国際人間科学部(発達コミュニティ学科/環境共生学科/子ども教育学科), 発達科学部/人間発達環境学研究所
経済経営研究所図書館	六甲台第1	経済経営研究所
医学分館	楠	医学部医学科, 医学研究科
保健科学図書室	名谷	医学部保健学科, 保健学研究科
海事科学分館	深江	海洋政策科学部, 海事科学部/研究科, 乗船実習科

開館時間など最新情報については図書館のウェブサイトをご確認ください。

● 神戸大学附属図書館ウェブサイト

<https://lib.kobe-u.ac.jp/>

なお、学内で蔵書数が最も多く、また歴史が最も長いのは社会科学系図書館です。昭和8年に建てられたこの図書館は、国の登録有形文化財であり、歴史的建造物としても価値があります。2階の大閲覧室は天井が高く、ステンドグラスからやわらかな光が差し込む空間です。大閲覧室の傍には、卒業生である中山正實画伯作の壁画「青春」（昭和10年制作）もあります。

図書館が各キャンパスに分散している神戸大学の場合、探したい図書や資料があなたにとって最も身近な図書館に所蔵されているとは限りません。[資料検索システム OPAC \(オーパック\)](#)を使い、あなたの探している図書が別のキャンパスにある図書館に所蔵されている場合は、希望する図書館カウンターを指定すれば、概ね一両日中に配送されて受け取ることができます。希望する図書が貸し出し中の場合は、予約をすることも可能です。また、学修や研究に必要な図書で図書館に所蔵されていないものについては、新たな蔵書として Web 上で購入依頼をすることができます（購入の決定は図書館の職員が行います）。また、他大学の図書館に所蔵されている資料を取り寄せることもできます。

附属図書館が行っているユニークなサービスの一つに「KULiP (クリップ) 授業資料ガイド」があります。これは各授業で役立つ図書、論文、DVD、Web サイトなどをリストにして紹介するものです。どの授業で KULiP を活用しているかは下記のサイトを確認してください。

- **KULiP (神戸大学附属図書館パスファインダー)**

<https://lib.kobe-u.ac.jp/kulip/top/>

附属図書館では図書館ツアーや国内、海外の雑誌論文の探し方などについての各種ガイダンスを行っています。大学での学修を効果的に進めるために必要なノウハウを図書館から得ることができます。ぜひ参加してみましょう。

- **神戸大学附属図書館のガイダンスのお知らせ**

<https://lib.kobe-u.ac.jp/support/guidance-notice/>

大学文書史料室（六甲台第2キャンパス百年記念館1階）には、神戸大学の歴史などに関する史料が展示されています。百年記念館からの眺望を楽しんだ後に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

- **神戸大学大学文書史料室**

<https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/>

神戸大学では、創造的学習のためのスペースとして「ラーニングcommons」を設置しています。「ラーニングcommons」とは「学修のための共有空間」という意味です。その基本コンセプトは、教室とは異なるオープンな場であり、学生が自由に出入りして多

様々な人と交流しつつ、学問の垣根を超えた議論を通じて、開かれた協同の学びを実践する場であることです。仲間と一緒に思案をめぐらし、情報を探索し、議論し、協働して学ぶことができる場です。神戸大学のラーニングコモンズは総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、保健科学図書室、情報基盤センターなどに設置されていますので、ぜひ活用してください。

● 神戸大学 ラーニングコモンズ

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-new-student/lc/>

3-4. 神戸大学の国際学修プログラムを活用しよう！

神戸大学は、グローバルな意識を高めてもらうため、学生にキャンパス内外で国際的な学びを体験することを奨励しており、そのための様々な国際学修の機会を提供しています。実際、グローバルな舞台で活躍する卒業生の多くが、在学中に国際的な学びを経験してきました。ぜひみなさんも、以下で説明する国際学修の機会（神戸 GCP、交換留学、海外インターンシップ、国際共修科目など）を積極的に活用してください。さらに、神戸大学のグローバル教育センターには、国際経験豊富な教員が揃っており、みなさんの国際学修をきめ細かく支援する体制を整えています。以下の説明を読み、さらに疑問がある場合は、いつでも遠慮せずにグローバル教育センターまで問い合わせてください。

● グローバル教育センター

<http://www.gec.iphe.kobe-u.ac.jp/>

● 留学に関する個別相談（要予約 ※予約方法は以下のページ参照）

<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/howto.html>

海外（キャンパス外）学修プログラム

海外学修プログラムには、神戸大学のプログラムを活用する方法と、学生自身で留学を計画・実践する方法があります。毎年約 1,000 人の学生が神戸大学の海外学修プログラムを活用しています。神戸大学の海外学修プログラムには、外国語を学ぶための「海外外国語研修」、海外でのフィールドワーク、インターンシップ（就業体験）などを行う「神戸グローバルチャレンジプログラム」、専門分野を学ぶための「交換留学」、さらに海外の大学で学位を取得する「学位取得型留学」等、様々な種類があります。以下、順に説明しましょう。

① **海外外国語研修**

外国語を学ぶことを目的とした外国語研修は、国際コミュニケーションセンターが提供しています。実際に現地で生活をしながら外国語を学び、教室だけでは得られない生きた言葉や多文化に触れることができます。神戸大学の外国語科目の単位として認定さ

れているものもあり低年次の学生にお勧めします。研修ごとに説明会を実施しています。

● **国際コミュニケーションセンター 海外外国語研修**

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/solac/sup-overseas.html>

※詳細は、『外国語教育ハンドブック』を参照してください。

② **神戸グローバルチャレンジプログラム（神戸 GCP）**

神戸 GCP は**全学部・大学院生を対象**とし、基本的に長期休暇（夏休み及び春休み）を活用して、国際的なフィールドで国際的な学びを体験するプログラムです。

神戸 GCP の特徴は、①**海外派遣期間が 1 週間～1 ヶ月程度と短期であること**、②留学期間の前後に**事前学修と事後学修**が組み込まれており、「海外経験」を「学び」へつなげる仕組みがあること、③神戸大学の総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」として**単位授与**されること、④座学だけでなく、フィールドワーク、ボランティア、インターンシップなどの**多様な学びの機会**を用意していること、などです。

神戸 GCP は、海外経験が少ない人が、大学の正規カリキュラムの範囲内で短期の海外学修を経験してみたいという方に特に向いています。同プログラムの説明会を兼ねて、「神戸GCPフェア」を毎年 4 月と 10 月に開催していますので、興味のある方はぜひ参加してください（案内は神戸GCPのHPを参照のこと）。

● **神戸グローバルチャレンジプログラム**

<https://sites.google.com/gsuite.kobe-u.ac.jp/iphe-gcp>

③ **交換留学プログラム**

神戸大学では**世界 65 の国や地域にある 374 校の大学と協定（=正式な取り決め）**を結び、専門分野の研究や学修のための交換留学を行っています。これは日本全国の大学のなかでも屈指の規模です。交換留学では、これらの協定校に交換留学生として留学し、**正規課程の科目を履修し、単位を取得**します。

交換留学のメリットとしては、①**協定校で取得した単位を、（所属学部・研究科が認めた場合において）神戸大学の単位として認定**できること、②派遣先大学の授業料は**免除**されること、③留学中も神戸大学を休学しないで留学することになるので、卒業要件単位さえ満たされれば、**留学期間も含めて 4 年間で卒業**できること、などが挙げられます。

留学期間は**1 学期間または 1 年間（5～12 ヶ月間）**で、対象学年は協定校により異なりますが、学部 2 年次から大学院生までを対象とするプログラムが多くあります。参加要件として、各協定校が独自に語学力や GPA（Grade Point Average）等について定めています（これらを満たせない場合、留学ができない可能性があります）。そのため、将来的に交換留学を目指す方は、1 年次から勉学に励むことに加えて、特に語学力を向上させるための努力をしておきましょう。

● 神戸大学の交換留学プログラム

<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/exchange/index.html>

グローバル教育センターでは、年間を通して「海外留学フェア」を実施しています。関心のある人はぜひ参加してみてください（フェアの情報は神戸大学のHP 又はうりぼーポータルに掲載されます）。

● 海外留学フェア

<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/howto.html>

④ 学位取得型留学

留学には留学先の大学での学位取得を目的とする留学もあります。神戸大学では大学院レベルで各研究科が多様なダブルディグリー・プログラムを提供しています。ダブルディグリーとは、神戸大学の学位と留学先の大学の学位の両方を取得できるプログラムのことです。プログラムに応じて、様々な奨学金に申請することが可能です。詳しくは各学部・研究科の教務担当係で確認するようにしてください。ダブルディグリー・プログラム以外にも、各学部・研究科では独自の留学プログラムを提供していることもありますので、所属先がどのような留学機会を提供しているかについて一度確認しておくといでしょう。

海外学修プログラムのまとめ

プログラム名	目的	主な対象学生	単位	期間	問い合わせ先
海外外国語研修	語学研修*1	主に1・2年次 (全学部)	※	1ヶ月未満	国際コミュニケーションセンター
神戸 GCP	海外研修・体験	学部生・大学院生 (全学部・研究科)	有*2	1週間～ 1ヶ月程度	グローバル教育センター
交換留学	専門分野の研究や学修	2年次～大学院生 (全学部又は各学部)	有	5ヶ月～ 12ヶ月	全学協定校：国際交流課 部局間協定校：各学部・研究科国際担当窓口
ダブルディグリー	留学先での学位取得	大学院生 (各研究科)	有	1年～2年	各研究科教務担当係

*1 国際コミュニケーションセンター以外にも独自の語学研修を実施している学部有。

*2 神戸 GCP：大学院生は単位授与対象外。

キャンパス内国際学修プログラム



上では、海外に実際に渡航するタイプの国際学修について説明してきました。しかし、みなさんの中には、**国際的な学びに興味はあるものの、色々な事情で海外渡航が難しい**方もおられると思います。そのような方のため、神戸大学はキャンパス内で参加可能な国際学修の機会を提供しています。また、これらの機会は、**将来的に海外学修プログラムに参加する人の準備教育や、海外学修から帰国した後の継続的な国際学修のためにも活用可能**です。キャンパス内で可能な国際学修プログラムには「オンラインでの国際学修」と「国際共修」があります。

① **オンライン国際学修**

昨今の情報通信技術（ICT）の進展のおかげで、**オンラインで海外とつながることが容易**になりました。神戸大学では、上述した神戸 GCP の中で、オンラインで参加できる国際学修コースも用意しています。これらのコースには英語を共通言語とするものもありますが、日本語を用いて国際的な学びを経験するコースもあり、**語学力に不安があっても気軽に国際的な経験を得る機会を提供**しています。なお、2023 年度には、4 つのコースが計画され、それぞれの対象国は、①シンガポール、②カンボジア、③ラオス、でした。コース内容は毎年変わることがありますので、最新の情報は神戸 GCP の HP で確認するようにしてください。

● **神戸グローバルチャレンジプログラム コース紹介**

<https://sites.google.com/gsuite.kobe-u.ac.jp/iphe-gcp>

② **国際共修**

国際共修とは、**言語や文化背景が異なる学習者同士が、同じ教室で学び合う学習活動**のことです。神戸大学では、教養科目、学部の専門科目、海外のパートナー大学との連携により実施する夏期プログラムなど、**様々な形で多様な言語・文化背景を持つ留学生と国内学生が共に学び合う場を拡充**することを目指しています。2022 年 4 月にはその一環として、異分野共創型教育開発センターを設置し、新たな教育プログラムの開発に取り組んでいます。

● **異分野共創型教育開発センター 取組・活動 1 国際共修（ICL）プロジェクト**

https://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-ibunya/approach/approach_1.html

例えば、今年度に教養教育院で開講される「**複言語共修セミナー（タンデム・外国語としての日本語）**」（高度教養科目）、「**グローバルリーダーシップ育成基礎演習**」（総合

教養科目)、「総合科目Ⅰ多文化共生のための日本語コミュニケーション」は、神戸大学に留学している国際学生と共に学べる協働学習型の授業です。

また、神戸大学は「国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開 (ICL プロジェクト)」に参加しており、本学の学生は神戸大学に在籍しながら、当該プロジェクトの連携校で開講される国際共修授業 (開講大学: 東北大学・東京外国語大学・信州大学) を履修することが可能です。神戸大学に居ながらにして、多様な背景を持つ留学生と共に学べる国際共修の機会をぜひ活用してください。

● 国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開 (ICL) プロジェクト

https://www.kobe-u.ac.jp/international/intercul/2022_05_30_01.html

国際共修授業やプログラムについて興味がある方は、ぜひ以下の問い合わせ先に連絡してください。

異分野共創型教育開発センター
村山かなえ 特命講師
kanaem@people.kobe-u.ac.jp



以上の2つのキャンパス内国際学修の機会に加え、**Truss** という留学生の支援や留学生との交流を目的とする公認課外活動団体もあります。留学生への支援や交流に興味のある方は、ぜひ気軽に参加してください。

https://twitter.com/Truss_shinkan_

留学を考えている人へ

最後に、特に留学を考えている人への有用な情報として、「GEMs」というツールと、「留学準備」について簡単に説明します。

① 神戸大学グローバル教育管理システム

神戸大学では、神大生の海外留学を支援するため、**神戸大学グローバル教育管理システム (Kobe University Global Education Management System: GEMs ※GEMs ジェムズと呼びます)** を導入しています。GEMs は神大生の在学中の海外体験をより身近に、また、留学手続きをもっとスムーズにするためのツールです。GEMs では次のようなことができますので、積極的に活用してください。

- 神戸大学が提供する海外留学プログラムの検索や申請
- 海外留学のための奨学金の検索や申請
- 留学準備から留学後の手続きの進捗管理
- 海外渡航届の提出



・留学体験談の閲覧

GEMsには、パソコン、スマートフォンで、学外からもアクセス可能です。情報基盤センターが発行したログインIDとパスワードを利用して、パソコン・スマートフォンからアクセスしてください。

● 神戸大学グローバル教育管理システム(GEMs)

【PC版】 <https://gems.ofc.kobe-u.ac.jp/>

【スマホ版】 <https://gems.ofc.kobe-u.ac.jp/mobile/>



※なお本学学生は、海外留学に限らず、旅行などを含むあらゆる海外渡航の際には、必ずこのシステムを通じて、海外渡航届を提出してください。



② 留学準備

留学には事前の計画と準備が必要です。たとえば交換留学を希望する場合、留学開始の1年以上前から計画的に準備を進める必要があります。留学を希望する学生は、語学力や学業成績の向上に努め、留学資金の準備を早めに進めてください。

留学のためには、英語試験—主として TOEFL (トーフル) や IELTS (アイエルツ) —のスコアが必要になる場合が多いです(英語圏以外の場合は留学先国の公用語の試験)。早めに勉強を開始して、必要な語学スコアを確保しておくことが重要です。また、神戸大学の留学プログラムでは学内選考が設けられている場合が多いので、**学業成績が優秀であれば選考上有利**になります。また、**高い GPA を維持しておくことは、留学や留学のための奨学金を獲得するチャンスを広げる**ことにつながります。

留学資金については、申請するプログラムによってどのくらいの経費がかかるのかを**事前によく確認**することが重要です。また、海外留学に関わる奨学金もありますので、情報を収集し、申請時期や申請条件を調べておきましょう。

すでに紹介しましたが、グローバル教育センター(六甲台第2キャンパスの百年記念館内)では、「海外留学フェア」を定期的実施しています。関心のある人はぜひ参加してください。同センターでは、各種留学プログラムの詳細や奨学金の募集情報を入手することができます。また、留学に関する個別相談(対面及びオンライン)も実施しています。

全学共通教育でも、「海外留学のすすめ」や「神戸 GCP 基礎論・応用論」といった授業が提供されていますので、海外研修や留学を考えている方は受講してみることをお勧め

めします。

- 留学に関する個別相談（要予約 ※予約方法は以下のページ参照）
<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/howto.html>
- 海外学修プログラム一覧
<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/index.html>
- 神戸大学における国際交流に関する情報
<https://www.kobe-u.ac.jp/international/index.html>
- 神戸大学の危機管理体制・国際交流危機管理マニュアル
（※海外渡航予定者は必ず一度は目を通しておくこと）
<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/safety-management/index.html>

3-5. 学内の学生支援窓口を活用しよう

神戸大学では学生が健康かつ安全・安心な環境で勉学に専念できるように支援します。大学内には学生を支援するための組織がいろいろありますので、積極的に活用してください。詳しくは、神戸大学ホームページから『令和6年度 学生生活案内』を確認してください。

学生生活上のさまざまな問題について相談したいとき

学生センター（鶴甲第1キャンパスB棟1階）

<https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/support/advice/index.html>

グローバル教育センター（六甲台第2キャンパス百年記念館東側）

<http://www.kisc.kobe-u.ac.jp/>

奨学金、授業料免除、学生寮、学生教育研究災害傷害保険、課外活動などに関する相談窓口があります。また、学生センターには「学生なんでも相談窓口」があり、学生生活上のさまざまな問題についての相談に応じています。

なお、留学生が生活・修学上の相談をしたいときは、所属学部の教務担当係、又はグローバル教育センターの相談窓口を訪ねてください。英語での相談が可能です。

心身に障害があるなどの理由で修学上の支援を必要とするとき

キャンパスライフ支援センター（インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター
（障害学生支援部門）

（鶴甲第1キャンパスL棟1階）<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/ichc-center/SCCL/>

又は、所属学部の教務担当係

障害があるなどの理由により、日常の勉学や学生生活に何らかの困難や不安を抱えている場合は遠慮なく申し出てください。専門家が相談にのり、履修登録などの支援や、試験時の配慮、受講の際の支援など、必要に応じたサポートを提供します。

心身の不調を感じる場合、健康について相談したいとき

保健管理センター（インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター（保健管理部門）
（六甲台第2キャンパス本部事務局内：078-803-5245）、

深江分室（海洋政策科学部：078-431-6232）、楠分室（医学科：078-382-5006）、
名谷地区保健管理室（保健学科：078-796-4537）

<http://www.health.kobe-u.ac.jp/index.html>

学内で発生した急な病気やケガなど、救急処置を必要とする場合は、「からだの健康相談」に連絡してください。医師が診察、応急処置、投薬などを行います。急な頭痛、発熱、腹痛、吐き気、めまいなどを感じたときは最初の処置が大切ですので、できるだけ早く診察を受けるようにしてください。精神的な不安や不調を感じるときは、同センターの「こころの健康相談」を受診してください（要予約）。医師やカウンセラーが対応します。なお、毎年春には健康診断を必ず受検してください。

留学について相談、情報収集したいとき

所属学部教務担当係 又は、

グローバル教育センター（六甲台第2キャンパス 百年記念館東側）

<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/index.html>

「留学したい」と思ったら、なるべく早く情報収集をしましょう。留学には、十分な語学力もさることながら、入念な準備や計画が重要です。神戸大学は、世界65の国や地域にある374校の大学（2023年8月1日現在）と授業料の相互不徴収による学生交換を行っており、交換留学の機会がたくさんあります。また、奨学金を申請することもできます。所属学部の教務担当係やグローバル教育センターに多くの情報がありますので相談してみてください。

進路や就職の相談をしたいとき

キャリアセンター（鶴甲第1キャンパスA棟1階）

<http://www.career.kobe-u.ac.jp/>

鶴2キャリアサポートセンター

<https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/cs-center>

六甲台就職相談センター

<https://www.ryosokai.net/student/job/>

キャリアセンターでは、キャリアセミナーやガイダンスなどの就職関連行事に関する情報を発信しています。また、企業等の求人票、インターンシップ（在学時の就業体験）の情報提供、進路・就職相談等を行っています。

キャリアセンターとは別に、国際人間科学部のある鶴甲第2キャンパスと社会科学系学部のある六甲台第1キャンパスにも就職支援のセンターが設けられていますので、活用してください。

就職活動で関東方面へ行くとき

東京オフィス/キャリアセンター東京分室

<https://www.kobe-u.ac.jp/info/outline/facilities/tokyo-office/index.html>

東京方面で就職活動を行う際には、東京オフィスで各種サポートを受けられます。

さまざまなハラスメント（いやがらせ）を受けたとき

学部のハラスメント相談窓口（ハラスメント相談員）

<https://www.kobe-u.ac.jp/info/project/harassment/index.html>

もし学内で何らかのハラスメントを受けたと感じた場合は、まずは、その行為が不快ですぐに止めてほしいことを相手に意思表示してください。それでも状況が改善しないとき、あるいは意思表示することが困難な場合は、所属学部の教務担当係に申し出るか、ハラスメント相談窓口になっている相談員に相談してください。保健管理センターの「こころの健康相談」でも対応します。

DISCUSSION AND ACTION

- 神戸大学ホームページ>大学について>広報活動>動画・写真
にある動画を見て、感想を互いにコメントしてみましょう。
附属図書館では学生向けにさまざまなガイダンスやセミナーを実施しています。
図書館のホームページを見て、どれか一つに友だちと一緒に参加してみましょう。
<https://lib.kobe-u.ac.jp/support/guidance-notice/>
- 神戸大学キャリアセンターのホームページを開き、神戸大学およびあなたの学部の
就職状況はどうなっているか調べてみましょう。
- 下記のサイトを見て、神戸大学およびあなたの学部が協定を結んでいる海外の大学
を確認してみましょう。
<https://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/exchange/index.html>

第3章 参考サイト・参考図書

(著者姓のあいうえお順、URL はいずれも 2023 年 11 月 10 日最終検索)

参考サイト

- 文部科学省「トビタテ！留学 JAPAN」
<https://tobitate.mext.go.jp/>
日本政府の留学促進キャンペーン。国別留学ガイドが参考になります。

参考図書

- 井上真琴『図書館に訊け』ちくま新書、2004 年、902 円
著者は現職の大学管理職。図書館に長く勤務した経験を活かして、図書館で何をどこまで調べられるのか、奥義を伝授しています。
- 山内祐平他『学びの空間が大学を変える』ポイックス株式会社、2010 年、2075 円
世界の大学で学びのスタイルがどのように変化しているのかを実例を挙げて紹介しています。

第4章：大学生活で求められるルールやマナーを知ろう

要旨

「学ぶ自由」が保障されるためには、その前提として守らなければならないルールやマナーがあります。不正行為は知的誠実さに反するものとみなされます。試験やレポート作成、参考文献の引用などに際しては、不正行為と疑われないように十分な注意を払ってください。なお、アカデミック・ルールは専門分野によって少しずつ異なるので、よく確認しておいてください。また、大学生活を送る上で、あなたの身の回りにはさまざまなリスクが潜在していることを認識してください。さらに、あなたが周りから受け入れてもらうためには、多様な他者の学修活動を尊重することが求められます。

キーワード

アカデミック・ルール、不正行為、参考文献、剽窃、通学時のリスク、日常生活におけるリスク、障害のある人への配慮、多文化間コミュニケーション、ハラスメント、性的多様性

4-1. アカデミック・ルールやマナーには意味がある

第4章ではあなた自身に求められるマナーやルールについて紹介します。大学でアカデミック・フリーダム（第1章参照）が保障されていることは、何をやってもかまわないという意味ではありません。大学で自由を享受するためには、良識ある市民として守らなければならないマナーやルールが存在し、それらにはいろいろな意味が込められていることを知っておく必要があります。

①試験、レポート、論文作成時の基本ルール

神戸大学では、試験及びレポート等において不正行為を行った場合、該当する授業に限らず、その学期に履修する授業科目の成績がすべて無効になるというルールを定めています（レポート等とは成績評価に関係する提出物を指します）。そのような厳しいルールが定められているのは、不正行為が学問に対する知的誠実さに反するからです。このことは後で詳しく説明します。まずは、レポートや論文の作成において参考文献を参照する際には、少なくとも次の3点を守ってください。

- 信頼できる情報かどうかを確認する

著者が明確になっているか（ウィキペディアなどの集合知は責任の所在があいまいなので、参考文献に挙げるのは適切ではない。）
すでに古い情報になっていないか

- 正確かつ必然性のある範囲内で引用する

文献からの引用と自分の文章をはっきりと区別する

引用部分には都合よく手を加えない

必要以上に多く引用しない（一度に引用できるのは数行程度まで）

・出典を明示する

著者、出版年、論文名、雑誌名、巻・号、書名、出版社、掲載ページ等

孫引きをしない（できるだけ原著にあたる）

ウェブサイトからの引用の場合は、URL と閲覧日を明記する

「剽窃（ひょうせつ）」とは、他人の著作物を無断で引用し、自分が書いたものであるかのように振る舞うことです。論文やレポート作成時に引用を用いるときは安易にコピー&ペースト（コピペ）せず、出典を明示しましょう。出典の書き方については各学問分野でルールを定めています。インターネット上で公開されている情報だからといって、無断でコピペしてよいということにはなりません。大学および社会一般で求められる文章では、どこまでが他者の意見や情報からの引用部分で、どこからがあなた自身の意見なのかをはっきりと区別しなければなりません。たとえあなたに悪意がなくても、他者の著作物を無断で引用すれば、不正行為を行ったとみなされます。また、実験データを改ざんしてレポートを書くことや、存在しないデータをねつ造することも不正行為とみなされます。あなたの友人がそのような行為をしていることに気づいたら、厳しく注意してください。

これらの行為は誰かに迷惑をかけているわけではないのだから多少は許されてもいいのでは、と思う人がいるかもしれません。しかしながら、この考えには二つの重要な観点が欠けています。一つは、**学問の世界では先人の知的努力に対して敬意を払わなければならない**ということです。現代のわれわれの日常生活は、多くの先人が知的格闘を積み重ねてきた上に成り立っていることを忘れてはなりません。民主政治、新幹線、為替、LED など、われわれが先人の知的成果の恩恵に浴している例は枚挙に暇がありません。

もう一つは、**嘘やごまかしはあなた自身、また、所属する組織の名誉を汚すことになる**という点です。大学内の人間が不正を行った場合、その大学の教育・研究は信用を失います。あなたが図書館で探し出した本の内容がデタラメだとわかったら、あるいは、お気に入りの曲が盗作だと知ったら、あなたはその作者や作曲家、あるいは出版社などに対して、つねに疑念を抱くことになるでしょう。知的財産というものは、それを生産する側にも利用する側にも、知に対する誠実な態度が求められているのです。

アカデミック・インテグリティ (academic integrity) という考え方を聞いたことがあるでしょうか。この考え方は、**学問に取り組む上で言葉と態度が整合しており、矛盾がないことを意味します**。日常生活でも誠実さは求められますが、自身の知的活動においても、正直で誠実であることが必要です。たとえば、授業をサボった友人の代返をすることは、知的誠実さに欠ける行為です。**図書館で本を一冊丸ごとコピーすることは、著作権法に対する違反行為です**(どんなに多くとも著作物全体の半分以上しか認められません)。みんながやっているから、人に迷惑さえかけなければ、誰も見ていなければ、というような理由は認められないのです。

②専門分野ごとのアカデミック・ルール

アカデミック・ルールは各学部・学科によって少しずつ異なります。たとえば、調査・実験などの基本作法、学術論文の形式(引用の方法や参考文献の表記方法など)、発表の方法などは学問分野によって違います。それらは各学部・学科の入門科目で学びます。図書館に行けばアカデミック・ルールに関する文献がたくさん置いてありますので、自分で確認してみましょう。専門分野によってなぜルールが微妙に異なるのかについては、いろいろな背景や理由があります。注釈をたくさんつける法学や歴史学の学術論文では、注釈が論文の考証性を高める上で重要な役割を果たしているからです。論文の発行年月を重視する先端科学分野では、誰が先に発表したかが研究の国際競争において重要な意味をもっています。

神戸大学の授業に関するルールは、全学あるいは各学部・学科で規則などに定められていますが、授業中における細かなルールやマナーは学部・学科あるいは授業担当教員の裁量に委ねられています。授業中に飲み物を持ち込むことが認められるのか、出席はとるのか、何分以上遅れたら遅刻扱いになるのか、授業中にスマートフォンを使って調べ物をするのが認められるのか、教室で帽子をかぶることは認められるのかなどです。担当教員は、その授業の趣旨に照らし合わせて個別のルールやマナーを運用しています。

コラム：メールを書くときの基本マナー

「インフルエンザにかかったので、今日の授業は欠席しました。今日締切だったレポートを受け取ってもらえますか。」

学生からこうした問い合わせがメールで授業担当教員に寄せられることがあります。しかし、上記のような文面では相手の教員に十分に意図が伝わらず、しかも不躰な印象を与えてしまう恐れがあります。緊急の場合やメールを利用せざるを得ない場合は、少なくとも次のような趣旨をふまえる必要があるでしょう。

メール

件名：レポート提出について

本文：

〇〇〇〇先生

私は〇〇学部〇〇学科〇年生の六甲太郎と申します。学籍番号は〇〇〇〇です。先生が担当されている第2クォーターの〇〇科目(火曜日4限目)を履修しています。この授業のレポート提出に関してお尋ねしたい点がありまして、メールを差し上げました。

今日の授業がレポート提出締切になっていますが、昨日からインフルエンザにかかってしまい、今日の先生の授業に出席できません。申し訳ありません。レポートはすでに昨日までに作成してあり、提出できる状態です。ただし、病院の医師からは今週中は自宅で安静にするようにと指示されましたので、しばらくは登校できません。

つきましては、レポートを先生宛てにメール添付でお送りしてもよろしいでしょうか。医師の診断書は次回の授業に持参します。お忙しいところ申し訳ございませんが、ご検討いただけないでしょうか。

神戸大学〇〇学部〇〇学科〇年

六甲太郎

rokko@uribo.kobe-u.ac.jp

最初のメールの文章と何が異なるのでしょうか。まず、件名の入力、本文に宛名と自分の氏名を明記することは最低限のマナーです。今日ではSNSが普及しているので、オンライン上で他者とコミュニケーションをとる際に、宛名や自分の氏名を明記する習慣がついていないかもしれません。その場合、メールで他者や目上の人に対して問い合わせる際にも、友人とSNSで会話するような感覚で書いてしまう恐れがあります。十分に気をつけてください。また、問い合わせたい用件、問い合わせする事情について明確に記載しましょう。やむを得ない事情であっても、あらかじめ欠席することがわかっているなら、事前に連絡するのが礼儀上、望ましいでしょう。

基本は、相手に対して意図が伝わるように、そして相手に失礼な印象を与えることで自分自身が損をしないようにということです。大人としての配慮を心がけてください。

4-2. 身近なところに存在するリスクを意識しよう

大学生としての日常生活を送る上では、社会のルールやマナーを守りましょう。こうしたルールやマナーをわずらわしく思うこともあるかもしれませんが、これらは日常生活に潜むさまざまなリスクから、**あなた自身を守るためにあります**。詳しくは神戸大学ホームページから『令和6年度 学生生活案内』を確認しておいてください。神戸大学は、あなたが本学の学生である以前に「良識ある市民」の一人であることを求めています。自身の安全と安心を確保しながら、同時に周囲の人々の安全と安心を尊重することは、良識ある市民として大切なことです。

① 通学時のリスク

まずは、通学時にどのようなリスクが存在するかを確認しておいてください。神戸大学は各キャンパスが分散し、高台や海沿いに位置するキャンパスもあります。大雨や台風、事故、その他さまざまな理由によって公共交通機関のダイヤが乱れることは珍しくありません。授業開始ギリギリに登校すると遅刻する可能性が十分にあります。時間に余裕をもって登校してください。もし、ダイヤが大きく乱れている場合、他の交通機関を利用する「振替輸送」が可能か確認してください。また、交通機関のWEBサイトから「遅延証明書」も確認しておいてください。

神戸大学は気象警報による休講について、次のように定めています。午前6時の時点で神戸市に暴風・大雪・暴風雪に関する警報又は特別警報が発表されている場合は、午前中（1時限目と2時限目）の授業は休講となります。同様に午前10時の時点で発表されている場合は、3時限目と4時限目は休講となります。午後2時の時点で発表されている場合は、5時限目以降は休講となります。

ただし、いくつかの注意が必要です。まず、大雨・洪水警報は休講の対象とはなりません。反対に、神戸市に暴風や大雪の警報が出ていなくても、学生の居住地では発表されている場合があります。あるいは、神戸市に暴風や大雪の警報が発表されていなくても、地震などの自然災害により、通学が突然困難に陥る場合があります。そのような場合は、自分の安全を確保することが先決です。安全に登校できる状態でなければ、所属の教務担当係に連絡し、相談してください。

また、自然災害等により避難指示・緊急安全確保が発令されることもあります。これらのルールは対面授業で適用されオンライン授業は実施されることがあります。神戸大学のルールを把握し、神戸大学HPやBEEF+で授業実施の有無を確認しておきましょう。

- 交通機関の運休、気象警報の発表、避難指示・緊急安全確保が発令時における授業、定期試験の休講措置について

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/access/02.pdf>

神戸大学ではバイク通学の自粛を呼びかけています。その理由は通学時などの事故が後を絶たないからです。バイクは便利かもしれませんが、事故を起こしてしまう危険性、これにより他者を事故に巻き込む可能性の高い乗り物であることをよく認識しておいてください。やむを得ない理由でバイク通学をする場合は、必ず所属の教務担当係か学生センターで駐輪登録の上、所定の場所に駐輪してください。この時、歩行者スペースや点字ブロックに停めることがないように注意してください。また、深夜にバイクのエンジンをかけること、大声で騒いだりすることは近隣の迷惑になりますので、十分に注意してください。

②日常生活におけるリスク

通学時以外にも大学生活にはさまざまなリスクがあります。まず大前提として、二十歳未満の飲酒・喫煙は日本の法律で禁止されている犯罪です。大学生イコール飲酒・喫煙 OK だと勘違いしてはいけません。

少なくとも二十歳になるまでは周りから勧められてもきっぱりと断ってください。

飲酒に関して言えば、神戸大学ではオリエンテーションなどの機会を通じて、いわゆる「イッキ飲み」の危険性を繰り返し説明しています。命を落とす危険性と同時に、殺人者になってしまう危険性があります。周りの雰囲気にならないうようにしましょう。もし、新入生歓迎会や合宿の機会に先輩学生から無理矢理勧められることがあれば、それはアルコール・ハラスメント（アルハラ）ですので、きっぱりと断ってください。それでも強要されることがあったら、所属の教務担当係や教員に相談しましょう。

また、喫煙はあなた自身の健康を損なうリスクだけでなく、副流煙によって他者の健康にも悪影響を及ぼします。もし喫煙する場合でも、ルールやマナーを厳守してください。なお、神戸大学では、快適な教育研究環境を確保し、学生及び教職員の健康増進並びに疾病予防を図り、あわせて、喫煙習慣がつかない環境を提供するために、全キャンパスにおいて敷地内全面禁煙を実施しています。また、神戸市の条例では「市民等は、路上喫煙をしないよう努めなければならない。」と定められています。大学の敷地外での喫煙、吸い殻の放置（ぼい捨て）により、大学近隣の住民や、周辺の道路を歩いておられる方に迷惑が掛からないよう、節度ある行動をお願いします。

インターネットの利用にも留意すべきことがあります。X(旧 Twitter)、LINE、InstagramなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）は、不特定多数の人々との情報共有に大変便利です。その一方で、あなた自身の個人情報流出する危険性もあります。また、他者を誹謗中傷したり、反社会的な発言を軽率にしたりすると半永久的に記録に

残り、取り返しのつかないことになります。ネット上では個人情報や安易に公開しない、感情的な発言をしない、長時間のめりこみすぎないなどの注意が必要です。

最後にもう一点だけ。カルト集団、悪徳商法、ブラックバイトなどには、社会的経験の少ない大学生をターゲットにしたものが多数存在します。これらの勧誘には魅力的な誘い文句で近づいてくるという特徴があります。無意識のうちに、被害を被っている、あるいは犯罪に加担しているケースは珍しくありません。「なんだか話がうますぎないか。」と思ったら、絶対に関わらないようにしましょう。また、危険ドラッグなどを含む薬物によるトラブルもたくさん発生しています。一度、手を出すと通常の生活に戻るのには非常に困難です。また、戻れたとしても、長い年月と多くの人からの信頼を失うリスクがあります。興味本位で試してみよう、とは絶対に思わないでください。

4-3. 多様な他者の学び・異なる価値観を尊重しよう

① ダイバーシティ・アンド・インクルージョンという考え方

大学生活においてあなた自身が周りから受け入れてもらうためには、まずは多様な他者の学修活動を尊重することが前提です。現代の日本社会では、外見上の違いや内面的な違いにかかわらず、すべての人が各自の持てる力をフルに発揮できるような環境をつくることが求められています。この考え方は「ダイバーシティ・アンド・インクルージョン」(Diversity & Inclusion)と呼ばれています。神戸大学の学生と教職員は、人種、性・ジェンダー、年齢、身体障害の有無などの外的な違いだけでなく、人生観、学問観、世界観、歴史観、科学についての考え方、人間関係のあり方、宗教に対する考え方などもさまざまです。大学にも社会にもこうした多様性が存在することを認識し、お互いに尊重することが大切です。特にさまざまなマイノリティの人に対する配慮は重要です。

そんなことは当たり前のことだと思ってしまうかもしれません。しかし、私たちが気づかないことは意外に多いのです。たとえば障害のある人のことを考えてみましょう(注:今日では「障がい」と表記することもあります。ここでは法律に合わせて障害と表記します)。障害がある状態とは、身体上や認知上の機能的な障害があって、そうした障害および社会的な障壁によって継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受けていることを指します(障害者基本法)。

障害には外見だけではわからないものもたくさんあります。発達障害や精神障害、視覚・聴覚障害の大半も外見だけでは判別が付きません。大事なことは、大学での学修上で何らかの障害のある人は、おそらくみなさんの予想以上にたくさんいるということです。また、障害がある状態は工夫と周囲の配慮によって軽減、解消することが可能です。

たとえば、下肢の一部が欠損し、歩行が不自由になった方は義肢を装着することによって歩行することができますし、工夫すればスポーツを楽しむこともできるでしょう。バスへの乗降介助等、周囲の配慮があればその分日常生活が送りがやすくなります。

そのように考えてみると、大学生のみなさんにできることは次の2点です。第一は、**自分自身が障害のある人の社会的障壁にならないことです**。たとえば、点字ブロックの上に自転車を止めたり、荷物を置いたりしないという配慮なら誰でも簡単に実行可能です。また、混雑している電車やバスの優先座席で眠りこけていると、あなたが本当に優先されるべき人にとっての障害物になってしまうことがあります。授業中においても、聴覚に頼らなければならない視覚障害のある人や、聴力の低い聴覚障害のある人にとって、私語はあなたが想像する以上に迷惑な行為になるでしょう。レポート作成やゼミ発表の際にフォントサイズを必要以上に小さくすると、視力の弱い人や中高年の教員には読みづらいかもしれません。私たちは気づかない間に自分が社会的障壁になっていることがあります、そのことに気づくことによって改善することが可能です。

みなさんにできる第二の点は、**障害のある人にとっての社会的障壁を取り除くために、一個人として可能な範囲で協力することです**。たとえば掲示板の情報のうち、視覚障害のある友人にとって必要だと思える内容を見つけたら、積極的に伝えてあげてください。聴覚障害のある人とコミュニケーションをとる際は、文字で書く、身振りで示すなどによって、意思疎通はかなり楽になります。車椅子の人や松葉杖をついている人を見つけたら、ドアの開閉を手伝う、教室の入口に近い座席を譲る、たくさんの荷物を持つのを手伝うなどの配慮をしましょう。神戸大学としても学内における物理的な障壁を少しでも減らすように、規則の整備や施設・設備の改修を進めています。なお、鶴甲第1キャンパスにあるキャンパスライフ支援センターでは、障害のある学生に対してボランティアで支援を行う学生サポーターを随時募集しています。

② 外国人留学生との多文化交流

外国人留学生との多文化交流においても、無知や軽率な行動によって相手を傷つけてしまうことがあります。具体的な例として、グローバル教育センターには留学生から次のような苦情が寄せられています。

- ・ 宗教的な理由から豚肉を食べられないことを知っているにもかかわらず、食事会の場で日本人学生がそのことをほとんど考慮することなく料理を注文し、他の学生と同額の支払いを求められた。
- ・ 日本人学生から豚肉入りのお好み焼きを食べさせられて、からかわれた。
- ・ 1日に5回礼拝することを揶揄された。

- ・ 飲み会の席で冗談を言ったら、研究室の日本人学生に、頭を叩かれて許せない気持ちになった。

これらの事例から言えることは、日本人学生が軽い気持ちで及んだ行為であっても、留学生の側は深く傷ついているということです。相手の文化的背景に対する無知や無理解、先入観はハラスメントの原因になります。神戸大学には、ムスリムの学生だけでなく、ユダヤ教徒やヒンドゥー教徒の学生など、多様な宗教的、文化的背景を持つ留学生も多数在籍しています。日本人学生ですら、その背景や文化は千差万別です。他の学生と交流することは、多文化や宗教に対する理解を深める絶好の機会です。

まずは、相手がどうして気分を害しているのかを、立ち止まって考えてみましょう。無知や先入観から来る行き違いであれば、誠意を持って謝罪した上で、どこに問題があったのかを教えてほしいと尋ねてください。反対に、相手が怒っていることに驚いて、コミュニケーションを断絶してしまうのはもったいない行為です。どうしても折り合いがつかない場合は、相手の意見を尊重しつつ、自分には受け入れられないことを自己主張してよいのです。そうすれば相手と険悪な状態にならずに関係を持続することができます。

③ 性的多様性の尊重

たとえばLGBTQI+などの人々は、約10人に1人と言われていています。中には、人知れず悩んでいることがあります。そして、周りの人に自分のセクシャリティを言い出しにくいと言われていています。「男らしさ」や「女らしさ」についての考え方や好きになる相手には大きな個人差があります。「こうあるべきだ」という価値観を不用意に他人に押しつけないように気をつけましょう。私たちが暮らす社会には性的多様性が存在するという前提に立つことが必要で、他者を外見や先入観だけで評価しないことが大切です。

LGBTQI+は、以下の言葉の頭文字です。

L：レズビアン G：ゲイ B：バイセクシュアル T：トランスジェンダー

Q：クイア又はクエスチョニング I：インターセックス

+：LGBTQI 以外のジェンダーや性

本学では、多様な性・ジェンダーに関する相談窓口をインクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター（ICHC センター）の各部門に以下のとおり設置しています。ここでは、主に本学の学部・大学院の学生、教職員及びその家族を対象に日常生活で感じた違和感や心配事、不自由などについて相談ができます。

- ・ジェンダー平等推進センター（ICHC センタージェンダー平等推進部門）

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/>

- ・保健管理センター（ICHC センター保健管理部門）

<http://www.health.kobe-u.ac.jp/>

- ・キャンパスライフ支援センター（ICHC センター障害学生支援部門）

<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/ichc-center/SCCL/>

参考：神戸大学における多様な性・ジェンダーに関する基本方針とガイドライン

https://www.kobe-u.ac.jp/documents/NEWS/info/svsc/2023_09_12_01.pdf

神戸大学における多様な性・ジェンダーに関する研修動画（知識と理解編）

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/about/diversitytraining.html>

このように、他者の学びを尊重するということは、相手の文化的多様性、価値観、行動規範についても尊重するということを意味します。異なる他者とどうやって共存し、学び合えるかという知恵と工夫が、われわれに問われています。

DISCUSSION

- ・ あなたの学部・学科のアカデミック・ルールはどうなっていますか。たとえば、調査、実験などの作法、発表の作法、論文の形式、参考文献の表記方法について調べてみてください。
- ・ 神戸大学に入学して、地元や高校までとの違いで感じたことはなんでしょう。
- ・ 神戸大学に知り合いの留学生がいれば、日本で生活する上でのルールやマナーで一番苦労した点は何かをインタビューしてみましょう。
- ・ SNS の効果的な利用法、あるいは失敗談について話し合ってみてください。
- ・ 宗教的多様性や性的多様性と共生するために、神戸大学にできること、あなたにできることは何かを考えて、話し合ってみてください。



第4章 参考サイト・参考図書

(著者姓のあいうえお順、URL はいずれも 2023 年 11 月 10 日最終検索)

参考サイト

- 国際基督教大学ジェンダー研究センター(CGS)「LGBT 学生生活ガイド in ICU トランスジェンダー/GID 編」(ガイドブック)
http://web.icu.ac.jp/cgs/docs/20151021_TSGuide_v8.pdf
- 国税庁「20 歳未満の者がお酒を飲んではいけない 5 つの理由(令和 5 年 2 月)」(未成年者飲酒防止パンフレット)
<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/miseinen/04.pdf>
- 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)「研究者のみなさまへ～責任ある研究活動を目指して～」
https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/pamph_for_researcher.pdf
研究活動における不正行為の防止について紹介しているサイトです。
- 総務省「安心してインターネットを使うために 国民のためのサイバーセキュリティサイト」
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/kokumin/index.html
SNS 利用上の注意点を具体的に紹介しているサイトです。
- 名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門/名古屋大学イスラム文化会(ICANU)「ムスリムの学生生活～ともに学ぶ教職員と学生のために～〈改訂版〉」
<http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/en/doc/interculture/201510muslim.pdf>
日本人の大学教職員や学生に比較的なじみのうすいムスリムの文化習慣についてわかりやすく紹介しています。
- 文京学院大学「WITH 共に、豊かに生きていく」(障害のある人と共に働くために必要な配慮事例を表すリーフレット)
http://www.u-bunkyo.ac.jp/faculty/human/161121_DL_bunkyo_ol.pdf
- 堀一成、坂尻, 彰宏「阪大生のためのアカデミック・ライティング入門」第 4 版第 5 刷、大阪大学全学教育推進機構、2023 年
<https://hdl.handle.net/11094/71454>

参考図書

- 株式会社三菱総合研究所、全国大学生生活協同組合連合会、日本コープ共済生活協同組合連合会著『大学生が狙われる 50 の危険』青春出版社、2023 年、1100 円
大学生が遭遇しやすい各種リスクについてまとめています。

- **木下是雄『レポートの組み立て方』** ちくま学芸文庫、1994年、858円
学術的な文章の本質は簡潔かつ論理的であることを具体的に紹介しています。姉妹書として有名な『理科系の作文技術』と比べて、文科系の学生にも配慮した内容となっています。
- **酒井邦嘉『科学者という仕事 独創性はどのように生まれるか』** 中公新書、2006年、858円
第一線の脳科学者が研究発表や研究倫理の本質について紹介しています。さまざまな科学者のエピソードが挿入されています。

この初年次セミナー教材を作成する際に参考にした文献

(著者姓のあいうえお順、URL はいずれも 2023 年 11 月 10 日最終検索)

参考サイト

- ・ 名古屋大学高等教育研究センター編「名古屋大学新入生のためのスタディティップス」、2008 年（オンライン版）
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/stips/>

参考図書

- ・ カー, E.H 『歴史とは何か』 清水幾太郎訳、岩波新書、1962 年
- ・ 酒井邦嘉 『科学者という仕事 独創性はどのように生まれるか』 中公新書、2006 年
- ・ 信州大学全学教育機構 『信州大学新入生ハンドブック 2015』
- ・ 外山滋比古 『思考の整理学』 ちくま文庫、1986 年
- ・ 竹内薫 『99.9%は仮説 思い込みで判断しないための考え方』 光文社新書、2006 年
- ・ 近田政博 『学びのティップス 大学で鍛える思考法』 玉川大学出版部、2009 年
- ・ デレズウィッツ, W. (米山裕子訳) 『優秀なる羊たち 米国エリート教育の失敗に学ぶ』 三省堂、2016 年
- ・ 戸田山和久 『「科学的思考」のレッスン 学校では教えてくれないサイエンス』 NHK 出版新書、2011 年
- ・ 吉見俊哉 『大学とは何か』 岩波新書、2011 年
- ・ ワトソン, J.他 (吉成真由美インタビュー・編) 『知の逆転』 NHK 出版新書、2012 年

「神戸スタウンゲード」達成度チェックリスト

3つの能力	能力の要素	レベル0 スタート	レベル1	レベル2	レベル3
<p>複眼的に思考する能力</p> <p>専門分野以外の学問分野について、基本的なものを学ぶことを通じて、複眼的なものの見方ができること</p>	<p>専門分野以外の学問分野について、基本的なものの考え方を身につけている。</p> <p>複眼的なものの見方ができる。</p>	<p>専門分野以外の学問分野について、その基本的なものの考え方を、<u>ほとんど知らない</u>。</p> <p>複眼的に思考する習慣は、<u>ほとんどついていない</u>。</p>	<p>同左 <u>重要だと実感している</u>。</p>	<p>同左 <u>少しずつ身につけている</u>。</p>	<p>同左 <u>実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる</u>。</p>
<p>多様性と地球的課題を理解する能力</p> <p>世界の多様な文化、思想、価値観を受容するとともに、地球規模の課題の本質を理解すること</p>	<p>世界の多様な文化、思想、価値観を受容している。</p> <p>地球規模の課題について理解している。</p>	<p>世界の多様な文化、思想、価値観について、<u>ほとんど知らない</u>。</p> <p>地球規模の課題について、<u>あまり考えたことがない</u>。</p>	<p>同左 <u>いくらかの関心を抱いている</u>。</p>	<p>同左 <u>その関心を日常生活や日々の学修に活かしている</u>。</p>	<p>同左 <u>実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる</u>。</p>
<p>協働して実践する能力</p> <p>専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力と、困難を乗り越える能力を追求し続ける能力のこと</p>	<p>専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力を身につけている。</p> <p>困難を乗り越え目標を追求し続けている。</p>	<p>専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決に取り組んだ経験は、<u>ほとんどない</u>。</p>	<p>同左 <u>協働して課題解決に取り組むことが重要だと実感している</u>。</p>	<p>同左 <u>協働して課題解決に取り組むことを日常生活や日々の学修で実践している</u>。</p>	<p>同左 <u>実践から得られた知見を自分なりの言葉で表現できる</u>。</p>

索引（各章キーワード等） データを検索できます。

あ

アカデミック・フリーダム 1, 2, 40
アカデミック・ルール.....40, 42, 49
悪徳商法.....45
安否確認システム(ANPIC) 9

い

イッキ飲み45
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセン
ター（保健管理センター、キャンパスライ
フ支援センター、ジェンダー平等支援セン
ター）..... 27, 37, 38, 47, 48, 49

う

うりぼーネット.....21, 24, 26, 27
うりぼーポータル .15,18, 22, 23, 24, 25,26

か

外国語科目 3, 11, 13, 16, 19, 30
学習支援システム(BEEF+)24, 26, 27
学修の記録.....11, 21, 26
学修ポートフォリオ11, 21, 22
学修を振り返る.....1, 20
学生センター..... 36, 45
科目ナンバリング.....11, 17, 18
カリキュラム・ポリシー(CP) 11, 16, 17, 23
カルト集団46

き

危険ドラッグ.....46
気象警報.....44
基礎教養科目 11, 14
キャリアセンター 20, 23, 38, 39
休講 26, 44
共通専門基礎科目 3, 11, 14, 19
教務情報システム26

く

クォーター制..... 11, 12, 13
KULiP（クリップ）29
グローバル教育管理システム(GEMs) 34, 35
グローバル教育センター 30, 32, 35, 36
37, 47
グローバルチャレンジ実習31

け

健康・スポーツ科学 11, 14

こ

交換留学24, 30, 31, 32, 35, 37
高度教養科目 12, 14, 33
神戸グローバルチャレンジプログラム
（神戸 GCP）24, 30, 31, 33
神戸スタンダード.11,14, 15, 16, 17, 23, 53
神戸大学の特色..... 1, 6
国際コミュニケーションセンター
..... 23,30,31,32
コミュニケーション
..... 5, 14, 26, 43, 47, 48

さ

参考文献 40, 42, 49

し

時間割..... 11, 20, 22, 27
授業振り返りアンケート 3, 11, 21, 26
障害のある人.....40, 46, 47, 50
情報科目 11, 14
情報基礎..... 26, 27
初年次セミナー 1, 13, 17, 19, 21, 52
資料検索システム OPAC（オーパック） .29
震災文庫 9

す

スチューデント・アシスタント(SA) ...5, 19

せ

成績評価方針 11, 18

性的多様性40, 48, 49

全学共通授業科目 6, 7, 11, 12, 28

専門科目11, 12, 13, 14, 16, 33

そ

総合教養科目 11, 14, 31, 34

相談窓口 24, 36, 38, 48

た

大学院生 1, 5, 24, 31, 32

大学教員 1, 4, 5, 12

大学職員 1, 4

大学生（学部生）

.....3, 5, 6, 12, 23, 44, 45, 46, 47, 50

大学の資源 24, 25

大学の使命 1

ダブルディグリー 24, 32

多文化交流8, 47

ち

チューター 1, 5

て

ティーチング・アシスタント(TA).....5, 19

ディプロマ・ポリシー(DP)... 11, 16, 17, 23

と

東北ボランティアバスプロジェクト..... 9

都市安全研究センター 9

図書館..... 1, 4, 9,

19,20, 24, 25, 28, 29, 30, 39, 41, 42

は

バイク通学45

ハラスメント..... 38, 40, 45, 48

ひ

PC 必携化（パソコンの必携化） 24, 27

剽窃（ひょうせつ） 40, 41

BEEF+ 「学習支援システム」を確認

ふ

ファカルティ..... 1, 4

不正行為..... 40, 41, 50

ブラックバイト..... 46

ら

ラーニングコモンズ 24, 28, 29, 30

り

リスク.....26, 40, 44, 45, 46, 50

リベラル・アーツ 1, 2

留学プログラム.....16, 24, 31, 32, 34, 35

る

ルールやマナー 1, 40, 42, 44, 45, 49

S

SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）
.....43, 45, 49, 50

KOBE UNIVERSITY LOCATION MAP

鶴甲第2キャンパス

- 国際人間科学部
- 人間発達環境学研究所


六甲台第1キャンパス

- 法学部 法学研究科
- 経済学部 経済学研究科
- 経営学部 経営学研究科
- 国際協力研究科

六甲台第2キャンパス

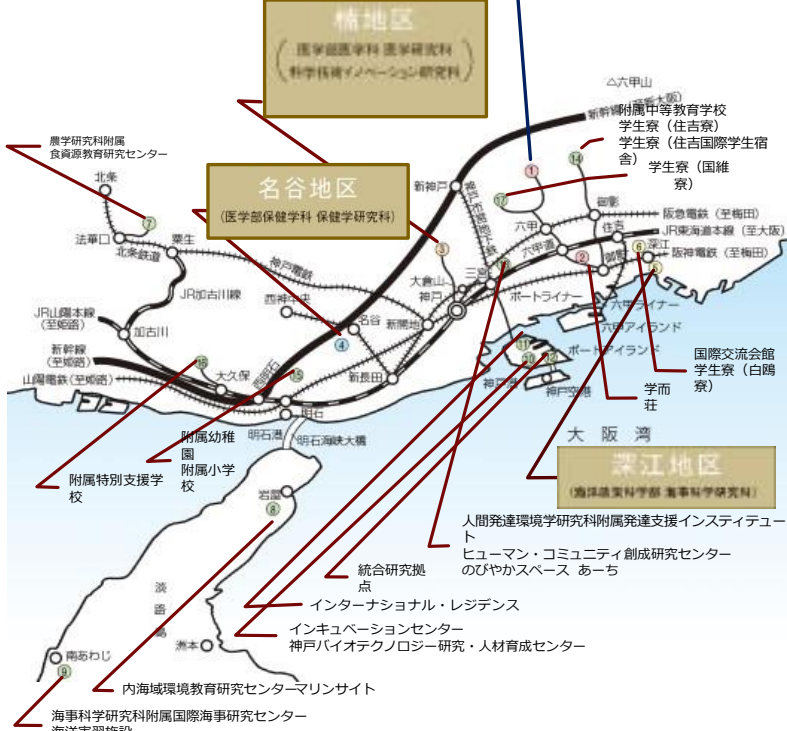
- 文学部 人文学研究科
- 理学部 理学研究科
- 工学部 工学研究科・システム情報学研究科
- 農学部 農学研究科
- 科学技術イノベーション研究科
- 保健管理センター
- 国際教育総合センター

六甲台地区



鶴甲第1キャンパス

- 国際人間科学部
- 国際文化科学研究科
- 学生センター
- キャンパスライフ支援センター
- キャリアセンター



六甲台地区
(法学部法学研究科 経済学研究科
経営学研究科 国際協力研究科)

名谷地区
(医学部保健学科 保健学研究科)

深江地区
(海洋学実科学部 海事科学研究科)

令和6年度 神戸大学初年次セミナー共通教材

発行日：令和6（2024）年3月

発行：神戸大学 大学教育推進機構

編集：初年次セミナー専門委員会

主著者：近田 政博（大学教育推進機構教授）
